

「第 2 期いきいき市民健康プラン後期計画」

令和 2 年度 事業実施報告

1. 仙台市の取り組み事業一覧 P. 1
2. 仙台市保健所支所の取り組み P. 29
3. 関係団体の取り組み P. 34

1. 仙台市の取り組み事業一覧

第2期いきいき市民健康プラン後期計画推進にかかる事業一覧（令和2年度 事業実施報告）

【重点分野1】未来の健康をつくる生活習慣病予防

【1】学齢期からの生活習慣病予防、健康的な生活習慣を形成するための取り組み

健康づくりの手法	取組事業	事業概要（令和2年度）	事業実施状況（令和2年度）	環境改善・整備	担当局・区	担当課
(1) 学校との連携を図り、生活習慣病を予防するための望ましい生活に関する啓発を行う	①学校保健委員会への参加	健康課題の共有や、健康教育メニューの紹介。	・小学校4校、中学校2校の学校保健委員会へ参加	○	各区	家庭健康課 保健福祉課
	②児童・生徒とその保護者を対象に健康教育	児童・生徒の健康課題や、壮年期の健康課題に応じた内容の、健康教育を学校と連携して実施する。	・小学校1校（鶴谷東）の入学説明会にて保護者向け健康教育「テーマ：生活リズムと歯科保健」を実施 保護者30人参加		宮城野区	家庭健康課
	③学校保健関係者との懇談会	地域の健康課題や健康教育の実施状況等を共有、健康教育メニューの紹介。	・学校保健・地域保健懇談会を開催 事業説明及び中学校区別健康課題を共有 小学校養護教諭7人、区中央市民センター社会教育主事1人参加 ・区内17か所の小学校（榴岡・原町・高砂・岡田・東仙台・宮城野・新田・鶴谷・幸町・鶴谷東・燕沢・柗江・鶴巻・東宮城野・田子・幸町南・西山）を訪問し、事業説明や健康課題の共有等を実施		宮城野区	家庭健康課
	④秋保中学校区生活習慣改善部会への参加	管内幼稚園・小中学校の養護教諭等の会議へ参加し、管内の健康課題について共有し、今後の事業展開に活かす。	・3月参加 （あきう幼稚園、秋保小学校、湯元小学校、馬場小学校、秋保中学校）		太白区	秋総保健福祉課
	⑤健康教育媒体等の貸出	学校・幼稚園・保育所等へ、健康教育媒体（糖分媒体、歯科模型等）の貸出を行い、取り組みを支援する。	・今年度は貸出なし		太白区	秋総保健福祉課
(2) 教職員への研修の実施等、学校における取り組みを推進する	①教職員・市民向けの研修	運動習慣・生活習慣・食習慣をテーマに仙台っ子健康セミナー（健康教育研修会）の開催。	・今年度は中止	教育局	健康教育課	
	②教職員向け保健指導資料の作成と活用推進	教職員向けに、保健指導資料を作成し、ホームページ・グループウェアに掲載	・教職員向けに、保健指導資料を作成し、ホームページ・グループウェアに掲載	教育局	健康教育課	
(3) スポーツイベントを積極的に周知し、子どもの参加や体験につなげる	①情報の発信	運動情報に特化したホームページ「仙台スポーツ情報ナビ」や新聞折込情報誌を活用したスポーツ情報の提供。	・【ホームページ】ハーフマラソンやスポーツイベントなどの情報を掲載 HP訪問数：352,437件（令和3年4月1日現在） ・【新聞折込情報誌】河北ウィークリーに各スポーツ施設の情報を掲載 月1回×6ヶ月（4・9・11・12・1・2月） 月2回×4ヶ月（7・8・10・3月）	文化観光局	スポーツ振興課	
(4) 肥満度の高い児童を対象に保健指導を実施する	①生活習慣病予防検査の事後措置	生活習慣病予防検査の結果について、学校医より指導助言をいただき、保護者へ連絡する。その際に、肥満についての資料を結果とともに配付する。	・生活習慣病予防検査の結果について、学校医より指導助言をいただき、保護者へ連絡。その際に、肥満についての資料を結果とともに配付	教育局	健康教育課	
(5) 学齢期のその他の生活習慣病発症予防	①生活習慣病予防検査	小学校1・3・5年生、中学校1年生、高等学校1年生を対象に実施。	・小学校1・3・5年生、中学校1年生、高等学校1年生を対象に実施	教育局	健康教育課	
	②市民センターや児童館と連携した健康教育	今後自立していく子どもたちと、見守る保護者を対象とし、健康的な生活習慣について家族で考える機会の提供や、健康づくりについての正しい知識の普及。	・常備菜レシピと循環備蓄に関する啓発資料を片平市民センターと作成し、片平市民センターより片平丁小学校の全学年へ配布し、啓発	青葉区	家庭健康課	
	③重点分野を横断した次世代の健康づくりの推進	学齢期の児童が、生活習慣病を予防するための望ましい生活習慣に関して周知啓発する。	・小学校2校（幸町南・新田）の児童（6年生）計223人に健康教育「テーマ：タバコの害を知ろう！」を実施。区中央市民センターと連携し、社会教育主事が寸劇に協力	宮城野区	家庭健康課	
	③重点分野を横断した次世代の健康づくりの推進	次世代の健康づくり推進のため、児童館と連携し、食生活、歯と口、防煙の各分野を横断した内容の健康講座を実施。	・児童が学んだことの定着を図られるよう児童館と連携し、児童館6か所（富沢、東長町、中田、袋原コミュニティ児童館、東中田、東四郎丸）計228人へ健康教育を実施し、保護者向けパンフレットを配布 ※新型コロナウイルス感染拡大予防に配慮し、人形劇をDVD化して従事職員を最小限で実施（1名もしくは児童館職員のみ）	太白区	家庭健康課	
④若い世代の健康づくり	生活環境が大きく変化する大学の新生入生を対象に「健康的な食生活、歯と口の健康、防煙、心の健康」についての総合的な健康教育を行う。	・例年、東北工業大学1年生を対象に健康教育を実施していたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため実施できず	太白区	家庭健康課		
④若い世代の健康づくり	区内専門学校26校を対象に、健康づくりをテーマとしたニュースレターの発行を行う。また、専門学校の担当教員より課題や現状を聞き取りし、必要時健康教育や啓発資料の配布を実施する。	・区内専門学校26校にニュースレターを送付（年2回/7月・2月）	青葉区	家庭健康課		

		区内専門学校生を対象に子宮がん検診・20歳のデンタルケア検診・食育推進・心の健康づくり等に関する啓発を行う。	・専門学校6校に対し啓発媒体配布 (検診啓発・食育推進・受動喫煙防止) 3,470部 ・専門学校6校に対し啓発媒体配布 1,735部 心の健康づくり媒体 1,070個	○	宮城野区	家庭健康課
	⑤市民センターや児童館と健康課題に関する共有	地域の健康課題や健康教育の実施状況等を共有、健康教育メニューの紹介。	【区中央市民センターとの連携】 ・区中央市民センター社会教育主事との連携を図り、学校保健等へのアプローチについて相談及び事業の進捗について共有 ・区中央市民センター社会教育主事の協力のもと、区内小学校を訪問・健康教育実施の際に区中央市民センター社会教育主事が協力	○	宮城野区	家庭健康課

【2】壮年期の生活習慣病発症予防、重症化予防の取り組み

健康づくりの手法	取組事業	事業概要（令和2年度）	事業実施状況（令和2年度）	環境改善・整備	担当局・区	担当課
(1) 健診受診率向上を図る取り組みを行う	①特定健診の受診勧奨	国保加入者に対し、リーフレット、ハガキ送付及び電話等により受診勧奨を行う。	・40歳の国保加入者へのリーフレット送付 1,845人 ・平成20年度以降未受診等の国保加入者へのハガキ送付 48,087人 ・電話勧奨 10,268人		健康福祉局	保険年金課
	②健診体制の整備	国民健康保険加入者に対する特定健康診査、基礎健康診査と各種がん検診、各種節目検診、訪問健康診査、ホームレス結核健診、日本語学校留学生結核健診、身体障害者健康診査。	・特定健康診査受診者数63,322人(43.7%)		健康福祉局	保険年金課
	③多様な手段を活用した、市民健診、特定健診の受診勧奨	市政だより、ホームページ、情報コーナー等を活用し、受診勧奨する。また、団体の会報なども活用して周知する。	・市政だよりやホームページFacebookでの情報発信 ・区役所内健康情報コーナーやデジタルサイネージにて啓発 ・区内郵便局・市民センター・コミュニティ・センター等に申込案内を配布 ・子育て世代向けに区内保育所にポスター、申込案内の設置を依頼 ・大型商業施設でのパネル展示やリーフレットの配布 ・理美容の方への周知（ポスター掲示依頼）		各区	家庭健康課 保健福祉課
	④ハイリスク者へ向けた特定健診等の受診勧奨(追加)	低所得者をハイリスク者として捉え、区保険年金課と連携し、健診受診の啓発を行う。	・区保険年金課窓口に健診受診勧奨のポスターを掲示		宮城野区	家庭健康課
	⑤健診受診率向上に向けた取り組み	健康づくりイベントや健康教育等での啓発を強化する。社保から仙台市国保に切り替える加入者、豊齢カード交付対象者（R2年度65歳になる方）への個別勧奨等を行う。	・健康教育にて啓発 ・前年度仙台市国民健康保険特定健診にてHbA1cが要指導レベルだった者に対し、個別通知にて受診勧奨		太白区	秋総保健福祉課
(2) 事業所や被用者保険の医療保険者等との連携強化により、生活習慣病に関する情報を発信する	①各団体や事業所と連携した健康教育	消防団や組合等様々な団体等と連携して、健康教育を行う。	・コロナ禍での健康づくり講話や手洗い実習などの実施 4回 124人参加	○	各区	家庭健康課 保健福祉課
	②衛生課と連携した健康教育	衛生課主催の衛生講習会への参加者を対象にした健康教育の実施。	・新型コロナウイルスの感染予防のため衛生講習会が中止されたため、実施できず ・組合加入店舗に市民健診ポスターの設置依頼や糖尿病予防啓発チラシ郵送	○	仙台市健康福祉事業団	仙台市健康増進センター
	③健康づくり情報の発信	定期的に、事業所へ健康に関する情報を発信する。店舗等は、来店した客への情報発信もできる。	・タクシー会社（区内の事業に賛同する会社） 定期的に健康づくり情報を提供：5社 年12回 ・理美容店（区内協力店） 定期的に健康づくり情報を提供：61店舗 年12回 ・事業所(区内協力事業所) 不定期に健康づくり情報を提供：2社 ・自動車学校 4か所 年12回	○	宮城野区	家庭健康課
(3) 歩きやすい、運動しやすい環境づくりを行い、身体活動量の増加を促す	①トワイライト・バス	夕方5時以降のトレーニング室、プール、軽運動場の利用定期券を発行し、仕事帰り等にもスポーツができる環境作り。	・利用者 延22,153人(令和3年3月末現在)	○	文化観光局	スポーツ振興課
	②マイタウンスポーツ活動の推進	地域スポーツ活動の充実を図り、市民が気軽にスポーツに親しめる環境づくりに取り組む。 (10/4(日)にスポーツイベントとして、市内スポーツ施設の無料開放や区毎にスポーツレクリエーションまつりを開催予定)	・10/4(日)にスポーツイベントとして、市内スポーツ施設の無料開放や区毎にスポーツレクリエーションまつりを開催 7,162人参加	○	文化観光局	スポーツ振興課
	③市民センターでの講座	各市民センターにおいて実施する健康維持・健康増進に関する講話や実技を通して、自分自身の健康づくりへの興味・関心を深め、実践していくきっかけ、実践等を学ぶ講座を開催する。	(※集計中につき未確定) 以下参考(令和元年度の実績) ・32館で40事業実施し、延べ5,895人が参加		教育局	生涯学習支援センター

		④まちなか歩数表示	市民の健康の増進を図るため、地域団体や市民活動団体等が、歩くことの意識付けを行う啓発表示をすることに対する補助事業。	・3団体へ補助金交付 (YARVOG、青葉山・八木山フットバスの会、八木山地区まちづくり研究会)	○	健康福祉局	健康政策課
		⑤ウォーキングマップの作成	多種のマップを作成し、ホームページからダウンロードして活用できる。ウォーキングマップの新規コース作成と改編および増刷。	・ウォーキングマップの新規コース作成と改編および増刷 (新コース：北仙台～北四番丁～木町周辺、富沢～大野田周辺コース 増刷：泉中央周辺、仙台港周辺、台原～北根～南光台) ・ウォーキングマップを活用したレッツ！健康ウォーキングの開催 6回 70人参加	○	仙台市健康福祉事業団	仙台市健康増進センター
		⑥ウォーキングイベント	日常的に取り組みやすいウォーキングの正しい知識と技術を学ぶ機会を設けることで運動習慣の獲得につながる。	・20～60代の女性限定で募集し、食事のワンポイントアドバイスとウォーキングのポイント実技実施 14人参加		若林区	家庭健康課
		⑦自転車安全利用講習会における取組	高齢者向けに実施する自転車安全利用講習会(6回)の中で、健康体操やストレッチを実施する。(区家庭健康課または健康増進センターに出前授業として依頼)新型コロナウイルス感染症の状況を見つつ、必要に応じて実施。	・新型コロナウイルス感染症の影響により講習会は実施せず。	○	市民局	自転車交通安全課
		⑧せんだいスマート	公共交通の利用促進を働きかける取り組み(モビリティ・マネジメント)として、転入者を対象に市内の公共交通の利用を促すリーフレットを配布するほか、路線バス沿線の地域住民を対象にワークショップを行い、公共交通利用促進の機運を高める取り組みを実施する。	・転入者に対し、せんだいスマートリーフレットの配布(18,200部) ・鶴ヶ谷、川平地区の住民有志と作成した地域の路線バス利用を促す情報提供ツールを地域住民へ配布する予定であったが、コロナの影響によりワークショップが開催できなかったことから、情報提供ツールの配布を令和3年度に予定。	○	都市整備局	公共交通推進課
		⑨ストック活用型都市再生推進事業(リノベーションまちづくり)	公共空間の利活用による都心部のにぎわいづくりの取組を実施。 ・公共空間利活用イベントの後援 ・歩行者の回遊性を高めるための取組みとして、民間事業者のイベントで歩道内にベンチを設置する等社会実験の実施を支援	【公共空間利活用イベント】 ・in the Park：勾当台公園(R2.11) 【社会実験】 ・晩翠通におけるベンチ設置：晩翠通(R2.7～R3.3以降継続)	○	都市整備局	都心まちづくり課
		⑩まち再生・まち育て活動支援事業	地域主体のエリアマネジメントによるまちづくりを推進するため、公共空間の利活用や維持管理の実現に向けた検討・検証等の取り組み(公共空間利活用イベント等)を支援。	・青葉通テラス：青葉通(R2.11) ・your Kitchen：宮城野通(R2.6～10) ・akippa：駅東7号公園を駐車場として暫定利用(R3.3～) ・楽天ベンチ設置：宮城野通(R2.8～R3.3以降継続)	○	都市整備局	都心まちづくり課
		⑪市民のみどりに関する活動への参加の推進	緑の活動団体認定制度 市認定「緑の活動団体」が行う、緑の保全・創出・普及活動(自然観察会、森林散策等のイベント)への市民参加。 コミュニティガーデニング事業 (花壇づくり助成、花いっぱいまちづくり助成、ポケットパーク推進事業)	・緑の活動団体認定制度 市認定「緑の活動団体」が行う、緑の保全・創出・普及活動(自然観察会、森林散策等のイベント)への市民参加。企画12回 開催7回 98人参加 ・コミュニティガーデニング事業 花壇づくり助成 237団体 花いっぱいまちづくり助成 5団体 ポケットパーク推進事業 6カ所	○	建設局	百年の杜推進課
		⑫地下鉄駅階段への消費カロリー表示	地下鉄駅構内(仙台駅、勾当台公園駅等)の階段に、階段を昇った時に消費するカロリーを表示し、地下鉄利用者の健康づくり・体力づくりに活用してもらう。	・地下鉄駅構内(仙台駅、勾当台公園駅等)の階段に、階段を昇った時に消費するカロリーを表示	○	交通局	営業課
		⑬障害者スポーツ教室開催事業	障害のある方々に対して、各種のスポーツ教室を開催し、健康の増進と障害者スポーツの普及を図る。	・障害者スポーツ教室 15回開催、延224人参加 ・障害者ボウリング教室 38人参加 ・ウエルフェアスポーツ2020 158人参加	○	健康福祉局	障害企画課
(4)	健康づくりに取り組む事業所への支援を強化する	①わかりやすい指導教材の作成	生活習慣病予防に関する教材を作成し活用をすすめる。 (新入社員の生活習慣病予防講座、メタボリックシンドローム予防教室、健診データの情報提供等)	・地区ごとに健診データを分析した資料を作成し、民生児童委員の定例会、学校保健委員会等で配布 ・新入社員の生活習慣病予防講座、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止 ・減量チャレンジ講座：2回 延28人参加		若林区	家庭健康課
(5)	健康診査結果でリスクのある人の重症化予防のための取り組みを強化する	①基礎健診受診者への事後指導	健診結果にて、生活習慣改善の必要性が高いと判定された方に保健指導を実施する。	・対象者340人に対し電話や文書による受診勧奨および指導の実施		仙台市健康福祉事業団	仙台市健康増進センター
		②国民健康保険特定保健指導	特定健診の結果階層化により積極的支援及び動機付け支援と判定された方へ保健指導を実施する。	・特定保健指導 601人(動機付け支援 422人、積極的支援 179人)		健康福祉局 各区	保険年金課 家庭健康課
		③生活習慣病重症化予防対策	健診の結果、要医療と判定されながら治療していない者に対して、電話や通知文等で受診勧奨をし、リスクが高いものに対しては訪問して保健指導を実施する。	【特定健診(検査値高値者への受診勧奨事業)】 ・対象者1,806人へ受診勧奨通知を送付(中性脂肪、腎機能該当351人は医療機関受診確認票を同封、LDLコレステロール該当者1,455人は通知のみ) ・中性脂肪、腎機能該当者240人より、医療機関受診確認票の返信あり(返信率68.4%) ・中性脂肪、腎機能該当者で受診確認ができなかった172人について、保健年金課で電話による受診勧奨(保健指導)を実施		健康福祉局	保険年金課
		基礎健診の結果、要医療と判定されながら治療していない者に対して、電話や通知文等で受診勧奨をし、リスクが高いものに対しては訪問して保健指導を実施する。	・対象者39人に受診勧奨の通知文及び受診状況確認票を送付 ・アンケート未返信者等の要確認者に対し電話にて受診勧奨及び保健指導を実施		各区	家庭健康課 保健福祉課	

			前年度特定健診・基礎健診結果にてHbA1cが要指導判定だった者に対し、個別通知にて今年度特定健診受診勧奨と血糖値に関する資料送付を行う。	・特定健診 201人 ・基礎健診 対象なし		太白区	秋総保健福祉課
			特定健診・基礎健診結果にてHbA1cが要指導だった者に対し、個別通知にて結果説明受診の勧奨、健康相談の案内を行う。	・特定健診 55人 ・基礎健診 7人 ・健康相談実施 1人		太白区	秋総保健福祉課
		④糖尿病性腎症重症化予防事業	特定健診の結果、A.糖尿病性腎症が心配される医療機関未受診者及びB.治療中断者に対して、通知文による受診勧奨を実施する。さらに、通知後も未受診の者には電話や訪問等で受診勧奨及び保健指導を実施する。	【A.糖尿病性腎症】 ・保険年金課より対象者2,335人へ受診勧奨通知と医療機関受診確認票を送付。 ・1,542人より医療機関受診確認票の返信あり（返信率66.0%） ・受診確認ができなかった1,077人について、各区・総合支所で電話や訪問（面談）等による受診勧奨（保健指導）を実施 【B.治療中断者】 ・保険年金課より対象者146人へ受診勧奨通知を送付し、内140人に電話による受診勧奨を実施		健康福祉局 各区	保険年金課 家庭健康課 保健福祉課
			従事職員向けの医師講話および事例検討会を実施する。	・事例検討会 従事職員向けの医師講話及び事例検討会を年1回実施 21人参加		宮城野区	家庭健康課
(6)	壮年期のその他の生活習慣病発症予防	①障害者の健康づくりに関する事業の調査	障害者の健康づくりに関する各機関の取り組み状況を把握し、課題の共有を行い、今後の事業展開に活かす。	・各区ネットワーク会議において地域情報の収集を行い、ネットワークの構築 ・運動教室で使用するツールの開発		仙台市健康福祉事業団	仙台市健康増進センター
		②健康づくり講座の開催	働き盛りの世代の肥満や運動不足などの生活習慣の改善を促すことを目的とした講座の開催	・新入社員の生活習慣病予防講座：新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止 ・減量チャレンジ講座：2回 延28人参加 ・ヘルスアップセミナー（一般）：12回 延150人参加 ・ヘルスアップセミナー（団体）：2回 34人参加 ・栄養講座：新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止		仙台市健康福祉事業団	仙台市健康増進センター
			多職種による健康相談や、疾患や健康課題に合わせた講座の開催。	・あおば健康づくり講座：開催回数3回 延23人参加 「野菜たっぷりレシピで生活習慣病予防」 （対象：1歳から未就学児の保護者） 2人参加 「ウォーキングで街めぐり～四ツ谷用水編～」 （対象：40～69歳の1時間程度ウォーキングが出来る方）12人参加 「女性の健康と骨粗しょう症予防」（対象：30～50代の女性）9人参加 ・高血圧をテーマとした講座（4回目）は新型コロナウイルス感染症感染防止のため中止し特定・基礎健診の結果での高血圧者147人にチラシを送付し、啓発 ・あおば健康づくり相談：7回 16人 ・生活習慣病予防教室 対象（R1特定健診基礎健診受診者、HbA1c要指導者、BMI24.9以下の35～64歳 352人） 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、集団での教室開催は中止とし、糖尿病予防に関するリーフレットを送付し啓発		青葉区	家庭健康課
				・健康生活講座：開催回数5回 実28人 延46人参加 講話・ワークショップ「色で表そう！自分の気持ち」7人参加 講話「健診結果の見方/高血圧への対処法について」9人参加 講話「おいしい減塩の方法について」10人参加 講話「噛むことは健康への第一歩！」9人参加 講話・運動実技「コツコツフィットネスで美魔女づくり」11人参加		宮城野区	家庭健康課
				・健康づくり講座 年間5回開催 延40人参加		若林区	家庭健康課
				・生活習慣改善相談 33人 ・例年実施していた、健康づくり講座、骨粗しょう症予防セミナーは新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため実施できず、個別相談で対応 健康づくり講座対象者48人、骨粗しょう症予防セミナー対象者2名の個別健康相談を実施		太白区	家庭健康課
				・健康相談 1件		太白区	秋総保健福祉課
				・健康づくり相談12回 11人 ・健康づくり講話3回 延36人参加		泉区	家庭健康課
		③生活習慣病講演会の開催	生活習慣病の病態や予防法についての講演会を開催する。	・ヘルスプロモーション啓発セミナー 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止		仙台市健康福祉事業団	仙台市健康増進センター
		④地域の生活習慣病予防事業	地域の特徴や課題をふまえ、糖尿病予防及び重症化予防についての正しい知識を地域の関係機関の連携により周知啓発する。	・新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から実施せず		泉区	家庭健康課
		⑤幼稚園や児童館、小中学校との連携	父兄や児童を対象にした健康教育の実施や、ライフステージの特徴に合わせた情報提供	・柏木市民センター・通町児童館と共催で、未就学児親子を対象とした運動講座5組10人参加 生活習慣病予防のミニ講話、親子運動など。 運動メニュー等の実施内容をホームページに掲載し啓発 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から実施せず		青葉区	家庭健康課
			児童に対し、食生活、歯と口、防煙をパッケージ化した人形劇のDVDを作成し、出前健康講座を児童館と連携して実施。参加児童に配付した保護者向けリーフレットにより、保護者に対しての啓発を行う。	・児童館6か所（富沢、東長町、中田、袋原コミュニティ児童館、東中田、東四郎丸）計228人へ健康教育を実施し、保護者向けパンフレットを配付		太白区	家庭健康課

⑥生活習慣病予防イベント	体力測定や血管年齢測定等の体験型のイベントを行い、生活習慣病についての知識を深め、自身の生活習慣を振り返る機会とする。	・新型コロナウイルス感染症拡大予防の観点より実施せず	青葉区 若林区 太白区 仙台市健康福祉事業団	家庭健康課 保健福祉課 仙台市健康増進センター
	地域住民へ健康づくり等に関する知識の普及・啓発。健康チェックや健康クイズラリー、子供の健康クイズを通し普及・啓発を行う。	・新型コロナの影響で地区健康まつりは全て中止 ・代替企画として、区中央市民センターギャラリーホールを活用した啓発を実施	宮城野区	家庭健康課
	地域のイベントにおいて体験型ブースを設置、生活習慣病についての知識を深め、自身の生活習慣を振り返る機会とする。	・新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から実施せず	泉区	家庭健康課
	一人一人の健康づくりや介護予防の目的に合わせた健康づくり処方をもとに、健康づくり応援プランを作成し、継続実施を支援する。	・総合コース 36人（障害者3人、高齢者1人、一般32人） ・簡易コース23人（障害者17人、高齢者1人、一般5人） ・身体活動コース70人（障害者41人、高齢者20人、一般9人） ・食生活コース0人 ・支援プラントレーニング2,072人 （障害者1,536人、高齢者374人、一般162人） ・1ヶ月、3ヶ月、6ヶ月フォロー 170人 ・生活習慣病重症化合併症予防事業 2回 15人 ・医師による健康相談1人	仙台市健康福祉事業団	仙台市健康増進センター
⑧障害者健康増進事業	障害者の健康増進のための運動教室の実施、および情報収集や発信、支援者や指導員の育成を実施し、専門的な健康づくり支援を行う。	・地域拠点教室 141回 延1,571人参加 ・施設対象教室 9回 延88人参加 ・支援学校対象教室 11回 延412人参加 ・各区障害者自立支援協議会等への参加 ・情報収集やネットワークづくり ・地域、専門機関と連携した個別支援や事業展開	仙台市健康福祉事業団	仙台市健康増進センター
⑨健康づくり相談	自分の健康状態にあった生活習慣改善により生活習慣病を予防し、健康の自己管理に役立てる。	・12回開催 実14人 延14人参加	宮城野区	家庭健康課
⑩特定健診の結果を活用した睡眠啓発	国保特定健診の間診結果より睡眠で十分休養がとれていないと回答した40・50歳代男性に対し睡眠に関するリーフレット等を送付し、生活習慣病予防と心の健康に活かす。	・対象者103人へ睡眠に関するリーフレット及び健康づくり相談の案内を送付	宮城野区	家庭健康課

【3】高齢期の健康を支えるための取り組み

健康づくりの手法	取組事業	事業概要（令和2年度）	事業実施状況（令和2年度）	環境改善・整備	担当局・区	担当課
(1) 高齢期の健康づくりに関する情報を発信する	①地域のサロン等への支援	健康情報の提供や健康教育の実施	・健康教育12回 実186人参加（手洗い感染症予防、熱中症、こころの健康等）		宮城野区	家庭健康課
			・運動教室参加者を対象に健康講話 51回 延408人		若林区	家庭健康課
			・町内会、復興公営住宅等サロンの健康教育 延521人参加		太白区	家庭健康課
			・7団体 8回 187人参加		太白区	秋総保健福祉課
			・地区社会福祉協議会サロン会：1回 15人参加		泉区	家庭健康課
		地域で活動するサポーターやボランティアの活動を支援するために、スキルアップ研修会や情報の提供を行うとともに、地域の社会資源である運動自主グループの活動継続の支援を行う。 （内容：巡回啓発支援、世話人会開催、会員募集、健康だよりの送付、立ち上げ支援）	・地域の社会資源である運動自主グループの活動継続の支援（20グループ） 活動自粛期間における高齢者の生活調査アンケート実施、情報提供2回、世話人会1回、 会員募集案内チラシ作成・配布（区役所、市民センターなど） 会員募集案内掲載（ホームページ、館内）		仙台市健康福祉事業団	仙台市健康増進センター
(2) 高齢者が健康づくりに取り組むための環境整備を行う	①元気はつらつチャレンジ・カード	65歳以上の方が対象。施設利用ごとにポイントを貯めて、それに応じた特典を受けることができる。	・カード発行数 1,573枚 表彰者数：シルバー賞 405人、ゴールデン賞 253人 100回達成 238人（令和3年3月末日現在）		文化観光局	スポーツ振興課
			②介護予防自主グループ支援、介護予防サポーター養成講座	地域において主体的・継続的に運動に取り組むことができる介護予防自主グループの育成とそれを担う介護予防運動サポーターの養成、質の向上のためのスキルアップ研修を行う。また、自主グループ活動が継続するための後方支援を行う。また、地域において主体的・継続的に運動に取り組むことができる介護予防サポーターの養成講座を開催する。 （新規サポーター養成研修、追加サポーター養成研修、スキルアップ研修、合同スキルアップ研修、活動継続のための支援、社の都の体操シリーズの普及啓発体験会、社の都の体操シリーズの普及）	・新規サポーター養成研修 11回 延83人参加 ・立ち上げ後の確認支援 2回 延33人参加 ・追加サポーター養成研修 24回 延231人参加 ・スキルアップ研修 35回 延503人参加 ・その他 1回 延3人参加 ・介護予防自主グループ数（令和2年度末）234団体	○
			・新規サポーター養成研修：16回（3区）延83人参加 ・追加サポーター養成研修：24回（4区及び1支所）延231人参加 ・スキルアップ研修：31回（5区及び2支所）延451人参加 ・合同スキルアップ研修：4回 52人参加 ・活動継続のための支援：25回	○	仙台市健康福祉事業団	仙台市健康増進センター

③シニア世代向け健康づくり講座	多様な健康状態の高齢の方が地域で継続して参加できる運動を中心とした通いの場の創設を目的に、介護予防運動サポーターなしでも自主的に継続できるグループの育成のための講座を行う。	・2地域で講座実施 18回 ・講座終了後2地域で自主的に活動を継続 ・育成後の活動継続支援 12回	○	健康福祉局 各区	地域包括ケア推進課 障害高齢課 保健福祉課
④地域のサロン等への支援	健康情報の提供や健康教育の実施。	・介護予防支援者研修会 地域で介護予防の支援を行っている方を対象に知識や技術の習得のため開催 内容：運動支援者のための「脳の健康づくり」研修会：21人参加	○	仙台市健康福祉事業 団	仙台市健康増進セン ター
⑤被災者向け介護予防・ コミュニティー形成事業	被災による生活環境の変化やストレスによる生活不活発病・閉じこもり予防のため、運動を切り口としたサロンを開催。	・被災者交流自主グループや復興公営住宅等サロンでの健康教育を実施 39回 延504人参加 ・令和元年度の基礎健診・特定健診受診者300人（再検査や治療の必要がなく、質問項目で週2回以上の運動をしていない、毎日1時間以上の身体活動をしていないと回答した70～79歳の方）に対し、自宅で行える健康づくり運動編と低栄養予防に関するリーフレットを送付	○	青葉区 若林区 太白区	家庭健康課
		・復興公営住宅5か所、防災集団移転地区2か所、浸水地域2か所の計9か所で、町内会や地域包括支援センター等と協働で運動教室を実施 51回 延408人参加	○	宮城野区	家庭健康課
		・被災者健康支援として運動サロン 15回 84人参加 ・その他運動以外のサロン 4回 81人参加	○	若林区	家庭健康課
		・沿岸部の被災者の集まり（泉集いの会） 10回実施予定もコロナウイルス感染予防対策で2回開催（10月、3月） 参加実14人 延22人参加 ・男性の集い（男の手習い教室） 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、対面での実施は全面中止。 以前参加した方に、手紙、料理のレシピ、写真を配布（11月、2月） 配布人数：14人 延28人 企画会議回数：5回 ・運動グループ（かんたん体操）の自主的運営の支援 開催回数：7回、延：35人 （12月から3月まで中止）	○	泉区	家庭健康課
		・被災者向け介護予防運動教室：16回（3区・3ヶ所） 延147人参加	○	仙台市健康福祉事業 団	仙台市健康増進セン ター
⑥高齢者健康づくり運動教室	介護予防を推進するために、高齢者を対象にした教室の開催。	・元気高齢者、後期高齢者等を対象に、シルバーセンター、健康増進センターを会場に高齢者運動教室を開催 ・きらら運動教室チャレンジ（概ね60歳以上の方）：41回 延576人 ・きらら運動教室（概ね60歳以上の方）：48回 延753人 ・元気あつぷ運動教室（満65歳以上の方）：124回 延2,398人 ・はつらつ運動教室ハーフ（満80歳以上の方）：32回 延105人 ・はつらつ運動教室（満80歳以上の方）：88回 延1,034人 ・いきいき脳活健幸教室 （認知機能の低下予防に興味がある満65歳の方）：20回 延265人 ・シニアステップアップ運動教室ライト（概ね60歳以上）：58回 延1,328人 ・高齢者運動教室公開講座青空ストレッチ（運動可能な市民）：4回 延84人	○	仙台市健康福祉事業 団	仙台市健康増進セン ター
⑦CareTech（ケアテック） 推進事業	仙台フィンランド健康福祉センターのネットワークを基に、ITを活用した高齢者向け福祉機器（ケアテック）の開発や実証、導入支援の取組。	・ニーズリサーチ事業： 勉強会に45名参加、3社に介護現場でのニーズリサーチを委託し報告書を提出 ・製品・サービス開発委託：4社が納品 ・実証サポート：1件採択 ・導入定着支援事業：セミナー2回開催、1施設でのコンサルティングを実施	○	経済局	産業振興課

【4】その他健康的な生活習慣を形成するための取り組み

健康づくりの手法	取組事業	事業概要（令和2年度）	事業実施状況（令和2年度）	環境改善・整備	担当局・区	担当課
(1) その他健康的な生活習慣を形成するための取り組み	①呼吸器の病気や障害のある方の健康づくり	呼吸器疾患特有の障害特性により、生活のしづらさにつながらないよう、同疾患のある方が健康維持や生活障害軽減のため、早期から呼吸リハビリテーションに取り組み始めるよう、環境整備や仕組みづくりを進める。	・新型コロナウイルス感染症防止のため、教室は実施せず		仙台市健康福祉事業 団 健康福祉局	仙台市健康増進セン ター 障害者総合支援セン ター
	②多様な手法を活用した情報の発信	健康課題や各種月間・週間に合わせて、パネル展・庁内放送・区役所1階ディスプレイ表示等を活用した効果的な発信。	・区役所や市民センターでのパネル展やリーフレット配布 ・情報コーナーやデジタルサイネージ等を使用した啓発 ・ホームページやFacebook、庁内放送を利用した啓発 ・商業施設での啓発 ・関係機関との会議での啓発 ・市民センターと協働で啓発資料を作成し、市民センターホームページへの啓発や館内配布		各区	家庭健康課 保健福祉課

③未就学児の親子への健康教育	健康づくりへの関心を高める機会とする。	<ul style="list-style-type: none"> ・柏木市民センター、通町児童館と共催で、未就学児親子を対象とした運動講座 5組10人参加 生活習慣病予防のミニ講話、親子運動など。運動メニュー等の実施内容をホームページに掲載し啓発を行った。 ・桜ヶ丘保育所・支倉保育所において、未就学児の健康についての健康教育 7組14人参加 ・あおば健康づくり講座において未就学児の保護者を対象に、常備菜レシピを用いた生活習慣病予防講座を託児付きで実施 2人参加 実施内容をホームページに掲載し啓発 		青葉区	家庭健康課
④常備菜レシピ啓発事業	バランスの良い食習慣づくりをねらい、市民協働で作成した「常備菜レシピ集」を活用した健康教育や啓発活動を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・福沢市民センターと共催で託児付き講座を実施。内容は、当課による県の健康課題と常備菜レシピ集についての講話、栄養士講話、新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、試食は行わず調理デモを行い啓発。親子8組参加 ・地域への普及啓発をねらい、関係機関や団体等へ常備菜レシピ集の説明と配布 ・母親教室の栄養士講話の中で常備菜レシピ集の説明と配布 妊婦37人参加 ・区内専門学校26校にニュースレターを送付（年2回/7月・2月） 		青葉区	家庭健康課
⑤HealthTech（ヘルステック）推進事業	ヘルスケア分野において、市内IT企業や関係組織との協業により、ITやその他技術を活用し、ヘルスケアの新製品・サービス開発を行う「ヘルステック」産業の振興と人材育成の取組。	<ul style="list-style-type: none"> ・ヘルスケア分野において、市内IT企業や関係組織との協業により、ITやその他技術を活用し、ヘルスケアの新製品・サービス開発を行う「ヘルステック」産業の振興と人材育成を実施 	○	経済局	産業振興課
⑥市民協働による健康づくりイベントの開催	地域住民が実行委員となり、健康づくりイベント「健康のつどい」を企画・開催する。	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント中止 		太白区	秋総保健福祉課
⑦リラックス方法の普及啓発	休養のためのリラックス実践法として、漸進的筋弛緩法を普及啓発する。	<ul style="list-style-type: none"> ・リラックス実践法としての筋弛緩法を「ゆるリラ体操」としてリーフレット1万部作成。 		仙台市健康福祉事業団	仙台市健康増進センター

【重点分野2】気付く，つながる，支える心の健康づくり

【1】悩みや不安の解消

健康づくりの手法	取組事業	事業概要（令和2年度）	事業実施状況（令和2年度）	環境改善・整備	担当局・区	担当課
(1) 心の健康に関する情報発信を強化する	①心に関する相談窓口等の周知 ②相談窓口・相談体制の整備，心の相談窓口等の紹介と紹介資料の設置 ③自殺対策の総合的な取り組み ④学校における取り組み ⑤思春期問題研修講座，思春期保健教育 ⑥いのちの大切さを伝える取り組み	地区社会福祉協議会の役員や福祉委員を対象にストレスやうつについての研修を行い，つながり支えあえる地域づくりに取り組む。	・こころの健康づくり講演会を開催予定だったが，新型コロナウイルス感染症の影響により中止	○	太白区	秋総保健福祉課
		復興公営住宅における相談窓口開催や相談体制を整備する。心の相談窓口等の紹介と紹介資料の設置箇所を増やす。	・主に復興公営住宅入居者を対象としたヘルスアップ通信(臨時号)等の配布。(総数1,120部)	○	若林区	家庭健康課
		本市の自殺の実態に関する情報を市民や関係機関へ発信，ホームページによる市民や関係者向けの啓発，自殺予防週間，強化月間での啓発，パンフレットの作成を行う。	・自殺予防週間に合わせたポスターの作成と配布(367ヶ所，461枚) ・相談窓口の周知のためのチラシの作成と配布(289ヶ所，5,960枚) ・ホームページを利用した相談窓口の周知	○	健康福祉局	精神保健福祉総合センター
		スクールカウンセラー，スクールソーシャルワーカーの効果的な活用などについて啓発を図る。	・スクールカウンセラーの相談件数は仙台市立小，中，高，特支学校の合計で16,789件。情報交換や心理教育等の活動を含めると53,528件。 スクールソーシャルワーカーは7名体制で，訪問回数は536回，電話が2,602回。		教育局	教育相談課
		思春期の事例に携わる教職員や関係機関職員を対象に，思春期精神保健に関する基本的な知識を提供する。	・日 時：令和2年11月20日(金) 会 場：エル・パーク仙台 セミナーホール1・2 テーマ：「不登校児童生徒への支援～児童精神科医が語る，とらえと関わり方のヒント～」 講 師：児童精神科医 林 みづ穂(仙台市精神保健福祉総合センター 所長) 参加者：96名		健康福祉局	精神保健福祉総合センター
		思春期の男女及びその保護者を対象として，思春期健康教育を行い，新進の健康やその発達について正しい知識の普及啓発を行う。	・小学校3校(延206名)，中学校1校(延104名)で実施。講話に対する生徒の反応は良く，アンケートにおいても命の大切さや子育ての大切さを実感した内容のものが多くみられる。		若林区	家庭健康課
		・開催回数 4回 ・児童自立支援施設 「人と自分への思いやり」中学生11人，教員3人 「性感染症予防，デートDV，相談窓口見学(家庭健康課他)」小中学生12名，教員6名 ・「望ましい男女交際について」中学2年生 49人 ・「性感染症について」中学3年生 52人			太白区	家庭健康課
		教育局健康教育課と連携し，市立中学校・高校において宮城県助産師会が思春期健康教育を実施する。	・健康教育 12校・1,011人 (小学校，中学校，児童自立支援施設)		宮城野区 若林区 太白区 泉区	家庭健康課 秋総保健福祉課
		仙台市立小中学校において，いのちを大切にす教育の取組を推進する。また，教員向けに研修会を行い，意識付けを図る。	・全ての学校においていのちを大切さについて考える学習に取り組んだ。 教員を対象にした研修会を実施した。		教育局	教育指導課
		(2) 従業員数の少ない事業所が利用できる支援機関を周知・啓発する	①働き盛り世代に届く情報の発信 生活習慣病予防事業や健康教育の場を活用して啓発を行う。	地域・職域と連携し，相談窓口一覧等を記載した啓発リーフレットや啓発グッズ等を活用し，働き盛り世代に向けた情報発信を行う。	・健康教育：介護予防自主グループサポータースキルアップ研修にてコロナ禍のメンタルヘルスについて講話。(参加者13名) ・保育所，小学校，児童館等：母子保健関連会議(書面開催)にて，職員向けのコロナ禍におけるセルフケアに関する資料を配布。(配布機関数：56) ・課内研修：コロナ禍のメンタルヘルスについて，職員向け研修を実施(講師：精神科医)。 ・自殺予防週間：当課窓口前の啓発コーナーにて，こころの健康に関するポスター掲示，当該リーフレットおよび啓発媒体を設置。 ・自殺対策強化月間：広瀬図書館との協働により，図書館にこころの健康に関する特設ブースを開設し，関連図書および相談先一覧等のチラシを設置。期間内に実施した母子保健事業等において，来所者に対し心の健康に関する啓発媒体を配布。	○
<再掲：重点1【2】(2)③> ・タクシー会社(区内の事業に賛同する会社) 定期的に健康づくり情報を提供：5社 年12回 ・理美容店(区内協力店) 定期的に健康づくり情報を提供：61店舗 年12回 ・事業所(区内協力事業所) 不定期に健康づくり情報を提供：2社 ・自動車学校 4か所 年12回				宮城野区	家庭健康課	
・新型コロナウイルス感染拡大予防のため，衛生講習会が開催されなかったため，実施できず。	○			太白区	家庭健康課	

			・地域・職域と連携し、相談窓口一覧等を記載した啓発リーフレットや啓発グッズ(ティッシュ・絆創膏・缶バッジ等)を活用し、働き盛り世代に向けた情報発信を行う。 ・健康教育等を始めた健康増進係事業等を活用して啓発を行う。	【自殺対策強化月間(3月)】 ・区役所本庁舎・東庁舎1階で心の健康づくりに関するパネル展示や啓発リーフレット2種類各100部、啓発アルコール配合ウェットティッシュ65部を設置。 ・アリオ仙台泉店に啓発リーフレット200部配布、泉警察署に絆創膏100個設置、図書館に絆創膏30個、啓発アルコール配合ウェットティッシュを100個設置、ハローワークに啓発アルコール配合ウェットティッシュ30個設置。社会福祉協議会に啓発アルコール配合ウェットティッシュ50個設置。 ・区役所の窓口(障害高齢課・戸籍住民課・保険年金課・保護課)で啓発アルコールジェルを配布：各課100個(計400個) ・健康づくり相談、個別禁煙支援の参加者へ、啓発アルコール配合ウェットティッシュを配布。母子保健事業において、啓発アルコールジェルを393部配布。	○	泉区	家庭健康課
	②職場のメンタルヘルス支援事業	企業の要請により、精神科医、臨床心理士、精神保健福祉士を派遣し、従業員への研修会を開催する。	・研修会への講師派遣 実施回数：6回、支援対象数：347名			健康福祉局	精神保健福祉総合センター
		業種別の団体との連携により、講習会等に合わせて講話や啓発を行う。	・新型コロナウイルス感染拡大予防のため、衛生講習会が開催されなかったため、実施できず。 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から実施せず。			太白区	家庭健康課
						泉区	家庭健康課
(3)	職場におけるメンタルヘルス向上を推進する	①心の相談窓口の周知・啓発	「せんだい健康づくり推進会議」と連携して、心の健康づくりに関するリーフレット等を活用し、働き盛り世代に向けた周知・啓発を行う。	・「せんだい健康づくり推進会議」(及びワーキンググループ)の構成団体の広報誌送付時に、仙台市のこころの健康づくり事業についての周知協力を依頼した(健康づくりに取り組む事業所5,200ヶ所)	○	健康福祉局	健康政策課

【2】ストレスとの付き合い方や心の病気についての正しい知識の普及・啓発

健康づくりの手法	取組事業	事業概要(令和2年度)	事業実施状況(令和2年度)	環境改善・整備	担当局・区	担当課
(1)	ストレスとの付き合い方や心の病気についての正しい知識の普及・啓発	①自殺対策の総合的な取り組み 全庁的な窓口職員、保健師等の専門職員、民生委員、地域包括支援センター、司法書士等のゲートキーパーを養成する。	【自殺対策ゲートキーパー養成研修(一般職員対象)】 講話「こころの声に気づく～職員1人1人ができること」 ロールプレイ 参加者：45名 【地域自死対策研修(専門職対象)】 講話「自死についての基礎知識と対応について」 ツールの紹介 参加者：98名 【ゲートキーパー養成研修標準テキストの活用】 各区職員が、地域住民や団体に対して、ゲートキーパー養成研修に取り組みやすくなるように作成し、自殺対策担当者会議において周知し、活用を促した。 (青葉区障害高齢課、宮城野区障害高齢課、若林区家庭健康課、太白区家庭健康課・障害高齢課にて活用。)		健康福祉局	精神保健福祉総合センター
	②自殺対策連絡協議会	関係機関、関係団体等と連携しながら、本市における自殺対策の推進を図る。(自殺対策連絡協議会、自殺総合対策庁内連絡協議会の開催)	・自殺対策連絡協議会：2回(2回開催予定) ・自殺総合対策庁内連絡協議会：1回(1回開催予定)		健康福祉局	障害者支援課
	③精神障害者地域社会交流促進事業	精神疾患・精神障害に対する正しい理解の普及を行い、これに基づく市民の適正な態度の醸成を促進する。 スピーカーズビューロー講演会の開催(2月回・年間20回以上) (新型コロナウイルス感染予防策を講じた上で実施予定)	・スピーカーズビューロー講演会 精神障害のある当事者が自己の体験について語り、疾患に対する誤解や偏見を解消することを目的とした講演会 年間8回開催(対面、Web、オンデマンド)、聴講者323人 ・動画作成(せんだいtubeにて配信)：2本 ・機関紙発行：4回(配布箇所数延565カ所)		健康福祉局	障害者支援課
	④メンタルヘルス協力者養成の取り組み	理美容師や被災者・区民への支援者などを対象に、ワンポイント講座、ステップアップ講座を開催し、自殺防止に繋げるゲートキーパーとして養成する取り組みを行う。	・健康教育：介護予防自主グループサポーター・タスクアップ研修にてコロナ禍のメンタルヘルスについて講話。(参加者13名) ・保育所、小学校、児童館等：母子保健関連会議(書面開催)にて、職員向けのコロナ禍におけるセルフケアに関する資料を配布。(配布機関数：56) ・健康教育にて民生委員等地域役員に対し心の健康づくりについてワンポイント講座を実施(3回・参加者合計43名) ・民生児童委員を対象にゲートキーパーの啓発(9回・190名)		青葉区	宮総保健福祉課
					宮城野区	家庭健康課
					若林区	家庭健康課
					太白区	家庭健康課
					泉区	障害高齢課
	⑤自殺予防週間・自殺対策強化月間	自殺予防週間や自殺対策強化月間に合わせてパネル展や啓発グッズの配布により、こころの健康に関する情報提供と啓発を行う。また、身近な人が気づき、病気の早期発見・治療につながることの大切さを啓発する。	・自殺予防週間に合わせたポスターの作成と配布(367ヶ所、461枚) ・9月の自殺予防週間：デジタルサイネージに啓発資料を掲載 ・3月の自殺対策強化月間：健康づくり情報コーナーへこころの健康に関する掲示物と啓発リーフレットを設置。リーフレットは13種類、96部を配布。デジタルサイネージへ啓発資料を掲載。児童館20か所、保育所・幼稚園55か所、市民センター17か所へリーフレットを送付。管内復興公営住宅7か所の掲示板へ高齢者向け啓発資料を掲示。	○	健康福祉局	精神保健福祉総合センター
					青葉区	家庭健康課

		<p>【自殺予防週間（9月）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パネル展, 情報コーナー ・専門学校6校に対し心の健康づくりに関する啓発媒体配布（1,070部） ・浸水地域への心の健康に関する啓発資料配布（350部） <p>【自殺対策強化月間（3月）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パネル展, 情報コーナー ・宮城野図書館での心の健康づくりに関する啓発・書籍の展示 ・ポケットティッシュ及びチラシ等啓発グッズの配布（自動車学校・理美容店等）963部配布 ・浸水地域への心の健康に関する啓発資料配布（350部） ・既存事業の中での啓発（離乳食教室・運動教室等） <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談窓口等のリーフレット設置, ポスター掲示 	○	宮城野区	家庭健康課 障害高齢課
		<ul style="list-style-type: none"> ・自殺予防週間パネル展示とリーフレット配布（区役所）配布部数68部 ・自殺対策強化月間パネル展示リーフレット配布（区役所）配布部数1,267部 ・心と女性の健康に関する啓発（イオンスタイル仙台卸町）配布部数885部 	○	若林区	家庭健康課
		<ul style="list-style-type: none"> ・情報コーナー, 区役所, 秋保総合支所パネル展での啓発, ・商業施設でのパネル展の実施。 ・民生委員・児童委員に対し, こころの健康づくりに関するリーフレット及び啓発グッズの配付 	○	太白区	家庭健康課
		<p>【自殺対策強化月間（3月）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泉区Facebookにこころの体温計を掲載。 ・区役所本庁舎・東庁舎1階で心の健康づくりに関するパネル展示や, ポスター設置。啓発アルコール配合ウェットティッシュ65個を配布。自殺予防週間に降, 年間を通してこころの健康づくりに関する啓発リーフレットを設置。リーフレット12種類, 計471枚配布。 ・アリオ仙台泉店に啓発リーフレット200部, 区内および近隣大学へ啓発絆創膏を250部配布。泉警察署に啓発絆創膏100個設置。図書館に絆創膏30個, 啓発アルコール配合ウェットティッシュを100個設置。のびすく泉中央に啓発絆創膏50個, アルコール配合ウェットティッシュ100個設置。ハローワークに啓発アルコール配合ウェットティッシュ30個設置。社会福祉協議会に啓発アルコール配合ウェットティッシュ50個設置。 ・区役所窓口(障害高齢課・戸籍住民課・保険年金課・保護課)で啓発アルコールジェルを配布: 各課100個(計400個)・区役所女子トイレに啓発カード設置。・泉中央南市営住宅へリーフレット2種を全戸配布: 180部 ・健康づくり相談, 個別禁煙支援の参加者へ啓発アルコール配合ウェットティッシュを配布。 ・母子保健事業において, 啓発リーフレット付きのアルコールジェルを393部配布。 <p>【9月自殺予防週間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泉中央南市営住宅へリーフレット2種を全戸配布: 180部・泉区Facebookにて, 相談機関等一覧を掲載。 	○	泉区	家庭健康課
⑥心の健康づくり講演会, 地域健康教育	講演会や講座(地域健康教育)等の開催により, ストレスへの上手な対応や心の病気に関する正しい知識の啓発を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・区内専門学校教職員を対象としたゲートキーパー研修の開催を予定していたが, 新型コロナウイルス感染症拡大のため中止。家庭健康課で作成の専門学校向けニュースレターにてメンタルヘルス普及啓発の内容を掲載。 ・新型コロナウイルスの感染症の影響で実施無し。 		青葉区	障害高齢課
		<ul style="list-style-type: none"> ・地区健康教育にて民生委員等地域役員に対し, 心の健康づくりについてワンポイント講座を実施(3回, 参加者合計43名) ・市民向け健康生活講座の開催 感情との付き合い方についての講話・ワークショップ(参加者7名) ・区内中学校健全育成連絡協議会 32名 		青葉区	家庭健康課
		<ul style="list-style-type: none"> ・地区健康教育にて民生委員等地域役員に対し, 心の健康づくりについてワンポイント講座を実施(3回, 参加者合計43名) ・市民向け健康生活講座の開催 感情との付き合い方についての講話・ワークショップ(参加者7名) ・区内中学校健全育成連絡協議会 32名 		宮城野区	家庭健康課
		<ul style="list-style-type: none"> ・こころの健康づくり講演会「こころのサインに気がついて」をWeb開催(来場参加あり)計30人 ・地区健康教育での啓発 1回, 計32人 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から実施せず。 		若林区	家庭健康課
				太白区	家庭健康課
				泉区	家庭健康課
⑦学生を対象とした啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・新学期の時期である5月～6月に, 区内の専門学校や大学を訪問し, 学生を対象とした心の健康づくりや相談窓口を掲載したリーフレット, ティッシュ等の配布を依頼する。 ・アルコールや薬物問題に関する高校生への講義や, 若年層の自死予防を図るボランティアサークルの運営と, 大学での講義, 啓発媒体の作成などの普及啓発活動の実施。 	<p>①若年層向けの普及啓発活動の検討会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内及び近隣の大学の学生をメンバーとしたボランティアサークル「はあとケアサークル YELL」で, 普及啓発活動の検討を実施, 開催回数: 11回, 参加者: 28名(延46名) ・メンタルヘルスに関する絵本の作成(500部) ・幼児とその保護者向けに啓発媒体を作成。次年度, 配布予定。 ・ボランティアサークル「YELL」による大学の講義を利用した自死予防, メンタルヘルスの啓発の実施。実施数: 3大学で計4回, 受講数: 312名 <p>②宮城大学, 東北学院大学の図書館等において, 自殺予防の啓発を実施 内容: メンタルヘルスの書籍の紹介及び啓発媒体の配とパネル展示。</p> <p>③関係機関への啓発媒体の提供・後方支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ここまる塗り絵およびメッセージカードの提供(宮城野区家庭健康課で幼児健康診査来所者, 宮城総合支所で児童館・幼稚園・保育園で配布)。 ・宮城総合支所の健康教育で, 啓発媒体(クリアファイル)を秋保中学校3年生に配布。 	○	健康福祉局	精神保健福祉総合センター

		自殺対策強化月間である3月に、区内および近隣大学を訪問し、学生を対象とした心の健康づくりや相談窓口を掲載したリーフレット、ティッシュ等の配布を依頼する。	・区内および近隣大学（4校）に啓発絆創膏の設置を依頼：計250個	○	泉区	家庭健康課
	⑧青年期層を対象とした啓発	3月の春休み期間に青年期層の利用が多いアリオ仙台店、区内及び近隣大学、のびすく泉中央、泉警察署を訪問し、青年期の心の健康づくりの必要性について説明の上、相談窓口を掲載したリーフレットの配布を依頼する。	・アリオ仙台店に啓発リーフレット200部、区内および近隣大学へ啓発絆創膏を計250個、泉警察署に絆創膏100個を設置。図書館に絆創膏30個と啓発アルコール配合ウェットティッシュ100個設置。のびすく泉中央に啓発絆創膏とアルコール配合ウェットティッシュ各50個を配布。ハローワークに啓発アルコール配合ウェットティッシュ30個設置。	○	泉区	家庭健康課
	⑨ひきこもり講演会	広く市民一般を対象に、ひきこもりについての正しい知識の普及啓発を行う。	・日時：令和2年11月7日（土） 会場：仙台市シルバーセンター 交流ホール テーマ：「ひきこもりからの回復に向けて ～家族や周囲がよき応援団であるために～」 講師：東京学芸大学 教育心理学講座 准教授 福井 里江 先生（公認心理師・臨床心理士・保健学博士） 参加者：100名		健康福祉局	精神保健福祉総合センター
	⑩若い世代の健康づくり	区内専門学校生を対象に子宮がん検診・20歳のデンタルケア検診・食育推進・心の健康づくり等に関する啓発を行う。	<再掲：重点1【1】(5)④> ・専門学校6校に対し啓発媒体配布 心の健康づくり媒体 1,070部		宮城野区	家庭健康課
	⑪特定健診の結果を活用した睡眠啓発	国保特定健診の間診結果より睡眠で十分休養がとれていないと回答した40・50歳代男性に対し睡眠に関するリーフレット等を送付し、生活習慣病予防と心の健康に活かす。	<再掲：重点1【2】(6)⑫> ・対象者103人へ睡眠に関するリーフレット及び健康づくり相談の案内を送付		宮城野区	家庭健康課

【3】被災者の心のケアの実施

健康づくりの手法	取組事業	事業概要（令和2年度）	事業実施状況（令和2年度）	環境改善・整備	担当局・区	担当課	
(1) 被災者の心のケアの実施	①震災後の生活困りごとと、こころの健康相談会	自殺の要因の一つである経済的な問題を抱える人の多くが、抑うつ状態に陥っていることが多いことから、経済問題に関する相談と併せてこころの健康相談を実施し、生活再建に向けた一助とすることで自殺予防を図る。	・定例の相談会 （司法書士による司法相談と、精神保健福祉総合センター職員によるこころの相談）実施回数：10回、相談件数：28件 ・自殺予防週間、月間に併せた相談会 （弁護士による司法相談と、精神保健福祉総合センター職員によるこころの相談）実施回数：2回、相談件数：26件		健康福祉局	精神保健福祉総合センター	
	②震災後の心身の体調管理やストレス・休養・睡眠についての働き盛り世代を意識した啓発	震災後の心身の体調管理やストレス等について、働き盛り世代を意識した啓発を行う。	・こころの相談の普及啓発 <再掲：重点2【2】⑤> ・自殺予防週間パネル展示とリーフレット配布（区役所） 配布部数68部 ・自殺対策強化月間パネル展示リーフレット配布（区役所） 配布部数1,267部 ・心と女性の健康に関する啓発（イオンスタイル仙台卸町） 配布部数885部 ・復興公営住宅入居世帯に対し、健康情報誌の発行 年4回、計2,028部	○	宮城野区	障害高齢課	
	③被災者の戸別訪問支援	震災後の心身の体調管理やストレス等について戸別訪問を通して状況を把握し、適切な支援を行う。	・継続支援世帯8世帯、訪問・面接・電話支援件数合計85件		○	太白区	家庭健康課
			・実28世帯、延41世帯			青葉区	宮総保健福祉課
			・区職員訪問・来所相談延件数 1,032件 ・支援機関との連絡、レビュー 362件			宮城野区	家庭健康課 障害高齢課
			・個別支援（訪問、電話）実績数 延べ640件 そのほか復興公営住宅各戸にヘルスアップ通信（臨時号）等をポスティングし、気になる被災者には声がけを実施（延べ1,120件）			若林区	家庭健康課
			・復興公営住宅 464件、地域在住者 11件、 訪問、電話、面接等により延べ533人の相談に対応した。			太白区	家庭健康課
		・宮城県健康調査後の訪問 （K6:13点以上・治療中断・朝から飲酒など心身の健康面で気になる方）48件			泉区	家庭健康課	

④震災こころのケア事業	震災の影響による様々な心の健康問題に対応するため、震災ストレスのハイリスク者等に対して、家庭訪問による個別支援や、被災者の支援をしている関係者に対して震災ストレスに関する啓発活動の実施	・震災ストレスのハイリスク者に対する各区保健福祉センターとの協働訪問 177件(延) ・震災後心のケア従事職員研修会 実施回数:5回, 参加者:延166名 ・災害時メンタルヘルス研修会 実施回数:1回, 参加者:56名	健康福祉局	精神保健福祉総合センター	
		・年2回(9月・3月)に浸水地域への心の健康づくりに関する啓発資料全戸配布(各350部) <再掲:重点2【3】③> ・区職員訪問・来所相談延件数 1,032件	○	宮城野区	家庭健康課 障害高齢課
		・個別支援件数 延1,047件(※障害高齢課分) ・個別支援件数 延 275件(家庭健康課分)・県の被災者健康調査 K-6 高値者		若林区	家庭健康課 障害高齢課
		・復興公営住宅 464件, 地域在住者 11件, 訪問, 電話, 面接等により延べ533人の相談に対応した。		太白区	家庭健康課
		・被災者交流支援事業「男の手習い教室(そば打ち教室・料理教室)」のチラシ配布時に、復興公営住宅に入居している男性宅へ訪問し健康状況を把握した。		泉区	家庭健康課
	地域支援者向け アルコール関連問題研修会	・アルコール関連問題事例検討会:4回 延52人		若林区	障害高齢課
		・地域支援者向け アディクション関連問題研修会は、新型コロナウイルス感染症流行のため中止。		泉区	障害高齢課
⑤定期的な交流会の開催	生活情報やメンタルヘルスに関するリラクゼーション, 運動, 参加者同士の傾聴・情報交換等の実施	<再掲:重点1【3】(2)⑤> ・沿岸部の被災者の集まり(泉集いの会) 2回実施 参加実人数14人 延人数22人		泉区	家庭健康課
⑥被災者健康診査事業	東北大学と共催でアンケート調査を実施。その結果も元に市民向けに講演会を実施	・健康診査結果説明会等 実施なし		若林区	家庭健康課
⑦自力再建した被災者が居住する地域へのこころの健康づくりの推進	自力再建した被災者が居住する地域において、自治組織や関係機関と連携し、地域全体のこころの健康づくりやコミュニティ形成を支援する。	・自立再建した被災者が居住する地域で、フェーズ5-2期における心のケア対策の一環として地域の関係機関からの情報収集, 地区診断, 課題の共有をおこなった。		泉区	家庭健康課

【4】その他の取り組み

健康づくりの手法	取組事業	事業概要(令和2年度)	事業実施状況(令和2年度)	環境改善・整備	担当局・区	担当課
(1) その他の取り組み	①自殺対策の総合的な取り組み	自殺対策推進センターにおいて、自殺の実態把握や、希死念慮のある方や、自殺未遂者、自死遺族等の相談に対して、専用回線での電話相談、来所・訪問による相談、弁護士・司法書士との連携による相談会を開催。	①相談・支援 ・電話相談 1,071件(うち新型コロナウイルス感染症に関する相談42件) ・自殺未遂者等ハイリスク者への電話、面談や訪問等による支援 延べ285回 ・関係機関への助言や指導 延べ116件 ・司法と連携した相談会(定例開催 10回, 相談件数:28件, 自殺予防週間・月間に併せた開催 2回, 相談件数26件) ②人口動態統計や警察庁統計を用い、本市の自死の実態について分析し、事業に反映		健康福祉局	精神保健福祉総合センター
	②来所相談, 電話相談(はあとライン, ナイトライン)	来所や電話による、こころの悩みに関する相談を行う。	・来所相談 2,434人 ・はあとライン 3,053件, ナイトライン 8,379件, その他電話相談 1,564件		健康福祉局	精神保健福祉総合センター
	③自死遺族への支援	市内の自死遺族支援活動団体の継続的な広報及び活動の助成を行う。	・対象団体に補助金を交付(3団体×200,000円)		健康福祉局	健康政策課
	④妊産婦・新生児訪問, 育児ヘルプ家庭訪問支援事業(乳幼児健診, 育児相談)	新生児訪問・育児ヘルプ家庭訪問事業(及び乳幼児健診・育児相談)により、産後うつや育児不安に対する相談支援を行う。	(※集計中につき未確定) 以下参考(令和元年度の実績) 【訪問指導(延人数)】 ・妊産婦10,063人・新生児 7,535人・未熟児 710人 ・乳児 737人・幼児 1,663人・その他 1,456人 育児ヘルパー利用時間数 3,827 時間 【育児ヘルプ】 1,273人(延人数) ・育児教室, 育児相談会		子供未来局	子供保健福祉課
	⑤「幼児健康診査における子どものこころの相談」及び「子どものこころの相談室」	各幼児健康診査における「こころとからだ問診票」による聞き取りと各区で「子どものこころの相談室」を実施	・1歳6か月児健康診査, 2歳6か月児歯科健診, 3歳児健康診査時に、問診票を用いて、保護者への聞き取りの実施。 ・各区での子どものこころの相談室の開催(137件), 問診票の配布・回収, 幼児健診対象者への周知チラシ配布		子供未来局 各区	子供保健福祉課 家庭健康課 支所保健福祉課
	⑥こころの健康相談(精神保健福祉相談)	精神疾患の治療及び家族等からの相談、問題解決への支援を行うことにより、早期発見・治療、再燃防止を図る。また、住民の偏見を取り除き、精神疾患を持つ方が当たり前の市民生活を送ることができるよう援助する。	・こころの健康相談 158回開催・293件実施。		各区	障害高齢課 宮総保健福祉課

⑦家族教室（家族のつどい）の開催	・精神障害者の家族が集まり、社会資源の活用について学んだり、家庭での対応の話し合いを行う。 ・アルコール・薬物関連問題を有する家族を対象に、ミーティングでの集団療法や心理教育、教室での講話や、当事者家族の体験談から回復について理解する。 ・ひきこもり状態の家族がいる市民を対象に、集団療法・心理教育的関わりを行うことで、心理的負担の軽減を図るとともに、適切な対応方法の習得ができるよう援助する。	・アルコール・薬物家族ミーティング 実施回数：29回、参加者：67名（延） ・アディクション家族教室 医師の講話・自助グループメンバー及び家族の体験談 実施回数：1回、参加者：7名（延べ） ・ひきこもり家族グループ 実施回数：10回（月1回、R2.6月～R3.3月）、参加者：65名（延） ※R2.4月～5月は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため休止 ・ひきこもり家族教室 実施回数：3回、参加者：55名（延） ※当初6回計画だったが新型コロナウイルス感染症拡大防止のため3回休止		健康福祉局	精神保健福祉総合センター
	精神障害者の家族が集まり、社会資源の活用について学んだり、家庭での対応の話し合いを行う	・家族教室、家族勉強会、家族交流会等 56回開催、253人参加		各区	障害高齢課 宮総保健福祉課
⑧市民が抱える高齢や障害に関する複合した課題や対応が困難な事例にも対応できるような相談体制の整備、職員のスキル向上の取り組み	市民が抱える高齢や障害に関する複合した課題や困難な事例について、総合相談窓口を設け、ワンストップでサービスを提供する。総合相談について、課内で医師を交えて定期的に事例検討を行い、助言を受けて今後の支援に活かす。	・こころの相談において指導医とのケースカンファレンス13件。		青葉区	障害高齢課
		・課内研修：コロナ禍のメンタルヘルスについて、職員向け研修を実施（講師：精神科医）		青葉区	宮総保健福祉課
⑨子どものこころの相談の充実	子どものこころの相談の開催	・12回（うち高砂1回）、相談延べ 24人		宮城野区	家庭健康課
⑩子育て交流支援	転入者の多い地域で子育て交流会を開催する。	・ウエルカム広場（原町・宮城野地区）を開催予定だったが、実施なし		宮城野区	家庭健康課
		・ウエルカムパーティを開催予定だったが、実施なし		太白区	家庭健康課
⑪子育て関係機関のネットワーク推進	子育て支援者のネットワークづくりを推進する。（浸水地域の高砂地区含む）	・子育て支援者交流会：実施なし ・虐待防止ネットワーク会議：6回 参加者189名（うち高砂2回51名、岩切1回29人）		宮城野区	家庭健康課
⑫支援者間のネットワーク推進	アルコール関連諸問題について関係機関の連携を図る	・アルコール問題対策連絡会議の開催（※新型コロナウイルス感染症の影響により書面開催形式にて実施） 日時：令和3年2月18日（書類送付） 参加：22機関 内容：コロナ禍におけるアルコール関連問題		健康福祉局	精神保健福祉総合センター
	学童期から思春期に向けた子どもの心身の健康課題の共有し、解決に向けた連携の強化を図る	・学童期から思春期に向けた保健対策のための懇談会 1回開催		青葉区	家庭健康課
	誰もが暮らしやすい地域生活を目指し、支援者が連携協働し適切な支援を提供するためのネットワーク作りの推進	①区障害者自立支援会議 ・実務者ネットワーク会議 1回 29人（※新型コロナの影響によりアンケート調査として実施） ・相談支援事業所等連絡会 9回 延244人 ・全体協議会 1回 36人（委員含む）（※新型コロナの影響により書面開催） ②地域ケア会議 ・区地域ケア会議 1回 参加者36人（委員含）（※新型コロナの影響により書面開催） ※区障害者自立支援協議会全体協議会と合同開催 ・地域包括支援センター連絡会議 2回 ・介護予防のための地域ケア個別会議 4回 ③太白区高齢障害連携事業（太白丸ごと相談事業）・西中田園域3回 ・愛宕橋園域1回		若林区	家庭健康課 障害高齢課
⑬依存症に関する人材育成	相談支援に従事する職員を対象に、依存症や関連問題についての理解や対応を学び、支援者のスキルアップを図る。	①地域ケア会議 ・区地域ケア会議書面開催1回（障害者自立支援協議会全体会含む） ・介護予防のために地域ケア個別会議5回 研修1回 ②障害者自立支援協議会 ・実務者ネットワーク会議10回 ・相談支援事業所連絡会7回 ・運営会議8回 ③太白区高齢障害連携事業（太白丸ごと相談事業）		太白区	障害高齢課
		・依存症関連問題研修 実施回数：1回、参加者：26名 講話：「依存症に関する相談対応の基本について」「依存物質や依存行為による脳や身体への影響について」「依存症からの回復について」「仙台ダルク代表 飯室 勉氏からのメッセージ」 ・月末スタッフ勉強会 実施回数：8回、参加者：76名（延） 内容：医師講話、回復者からの体験談等		健康福祉局	精神保健福祉総合センター
⑭無料法律相談とこころの健康相談会	専門職（弁護士、司法書士、精神科医、臨床心理士等）による定期的な無料相談会を開催し、法律や生活問題等と心の健康にかかる相談を一体的に受ける相談会の実施	・月1回・土曜日、福祉プラザにて開催（個別面談方式） 新型コロナウイルスの影響により、3回中止・9回開催 110人 ※（社）仙台いのちの電話への委託事業	○	健康福祉局	健康政策課
⑮こころの体温計	パソコンやスマートフォンから仙台市ホームページにアクセスすることにより利用できるセルフメンタルチェックシステムにより、自身の心の健康状態を知り、早期の相談窓口利用に繋げる	・アクセス数 31,088件 ※（株）エフ・ピー・アイへの委託事業（専用サイトの運営） ・サイト周知用リーフレットの配布 13,020枚	○	健康福祉局	健康政策課

【重点分野3】健康な心と身体を支える食生活

【1】健康を支える基本的な食習慣の形成

健康づくりの手法	取組事業	事業概要（令和2年度）	事業実施状況（令和2年度）	環境改善・整備	担当局・区	担当課
(1) 乳幼児、児童、生徒と保護者に向けた望ましい食習慣形成への啓発を強化する	①妊産婦、乳幼児の望ましい食生活についての積極的な啓発	・母子健康手帳交付説明会、母親教室等での栄養講話 ・3～4か月育児教室、離乳食教室、幼児健診における健康的な食生活の啓発と情報発信	(※集計中につき未確定) 以下参考（令和元年度の実績） ・母子健康手帳交付説明会：111回開催、887人参加、個別相談106人 ・母親教室等：77回開催、1122人参加、個別相談38人 ・3～4か月育児教室：205回開催6,355人出席、個別相談958人（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため3月開催予定だった19回中止） ・離乳食教室：60回開催、1122人参加、個別相談320人		子供未来局	子供保健福祉課
	②訪問、来所等による乳幼児の食生活相談	・訪問栄養指導事業 ・育児相談等開設時の栄養・食生活相談 ・幼児食相談会の実施（青葉区） ・幼児健診の問診票や健診結果、アンケート等の蓄積により食生活状況を把握し、個別栄養指導に生かす。	・訪問栄養指導事業（乳幼児・妊産婦）108件 ・育児相談会等での相談170件 ・電話・窓口等での食生活相談（乳幼児・妊産婦）788件、職員の訪問による個別栄養相談（乳幼児）14件		健康福祉局	健康政策課
	③乳幼児の食生活に関する健康教育	・出前講座、宅配講座など、地域に向向いの健康教育 ・1歳児の歯科保健教室における栄養指導（宮城総合支所、泉区）	・健康教育の開催8回 延べ39組、個別相談6件 ・1歳児歯科保健教室5回、集団指導39組、個別相談12組（宮総・泉）		健康福祉局	健康政策課
	④食に関する体験を通じた、食育を推進する機会の提供	幼児期の保護者を対象に、体験を通して子どもの時からの望ましい食習慣づくりを支援する講座を開催する。	・市民センターでの講座1回8組		青葉区	家庭健康課
	⑤健康的な食習慣についての講座の実施	児童クラブ・児童館を対象に朝食の大切さや間食、栄養のバランスについて等望ましい食習慣づくりに関する講座を開催する。	・依頼なし		青葉区	宮総保健福祉課
	⑥地域に向向いの講座の実施	児童館等と連携して体験を通じた「子どもの食育教室」を実施し、食育の推進を図る。	・新型コロナウイルスの影響で子どもの食育教室は中止。		宮城野区	家庭健康課
	⑦子育て支援施設における歯科保健・食育推進事業	児童館等の子育て支援施設と地域課題を共有し、解決のための教室等を一緒に企画し実施する。	・資料配布100：5児童館（六郷児童館20部、七郷児童館30部、若林児童館20部、沖野マイルール児童館10部、大和児童館20部） ・パネル掲示：7児童館 ・児童館だより啓発記事掲載：5児童館	○	若林区	家庭健康課
	⑧子供の食育講座	子供を対象とした、調理体験等の講座	・新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から実施せず。		泉区	家庭健康課
	⑨父親育児参加推進事業のびすくにおける「パパ'sクッキング」他	・父親が参加しやすい土日に、のびすく等において、下記を目的とした料理教室を開催する。 ・子供とのふれあいを食育から感じてもらう。 ・料理をすることにより父親の育児参加を進める。 ・母親と子供たちが楽しめる場（父親の料理、サロン）を提供する。	・のびすく仙台「パパ'sクッキング」0回 （新型コロナウイルス感染症拡大により開催を見送ったもの）		子供未来局	総務課
	⑩保育所における食育の充実	・各施設において、食育計画に基づいた活動計画を作成し、保育の中で食育を展開する。 ・毎日の食事の提供や食事の場面を通して、食事のマナーや食習慣、食事前後の衛生習慣を身につけるよう働きかける。 ・各施設での食育活動を通して、朝食をバランスよく食べる子が増えることを目指す。	・食育計画に基づき活動計画を作成し保育の中で展開。 全施設で食育計画作成 公立35施設 私立185施設 ・食育活動数（衛生面含め） 公立934回 延27,439人、私立4983回 延144,882人 ・朝食をバランスよく食べる働きかけ 公立74回 延5,656人 私立650回 延27,437人		子供未来局	運営支援課
	⑪保育所での畑作りとその収穫物を利用した食事作り	・子どもに、作物の世話や成長の観察、収穫を通じた働きかけを保育の中で実施し、食べる経験までつなげる。 ・収穫物を計画的に給食のメニューに取り入れる。	・畑作りの実施 畑作り計画 公立35施設 私立155施設 ・収穫物を取り入れたメニュー 公立35施設 784回 私立185施設 3084回 ・食した人数 公立 延39,814人 私立 延143,516人		子供未来局	運営支援課
	⑫学校における「早寝・早起き・朝ごはん」の推奨	食習慣だけでなく、生活習慣・運動習慣と関連させて、総合的・体系的に健康教育を進めていく。	・学校だよりや保健だより、給食だよりなどを通して早寝・早起き・排便習慣等の生活習慣の大切さや主食、主菜、副菜、汁物のそろった朝食の啓発を行った。		教育局	健康教育課
	⑬学校における「食に関する指導」の充実	「食に関する指導推進研修会」を開催し、各学校における手引の活用を推進し、食に関する指導の充実を図る。	・「食に関する指導の手引改訂版（平成26年）」を活用し、各教科における食に関する指導や給食時間の指導の充実を図った。 ・「食に関する指導推進研修会」を開催し、「学校における食育の推進」と題して文部科学省食育調査官が講演を行い、食に関する指導の充実を図った。来年度も継続して研修会を開催する。		教育局	健康教育課

		⑭児童生徒の保護者への啓発	健やかな体の育成プランの取組として、家庭での食事の改善や「共食」のすすめなど、食生活の充実に向けた取組を行う。	・献立表や給食だよりなどを通じて、望ましい食習慣形成の啓発を行った。		教育局	健康教育課
		⑮給食試食会や調理講習会の実施	各学校における保護者対象の給食試食会や給食センターでの市民向けの調理講習会を実施し、体験を通して食育の推進を図る。	・給食試食会や給食センターでの調理講習会は中止となった。		教育局	健康教育課
		⑯研修会による食育の推進	健康教育研修会として食育に関する研修会を実施する。	・健康教育研修会は中止となった。		教育局	健康教育課
		⑰食に関する体験を通じた、食育を推進する機会の提供	保育所(園) 幼稚園、小学校とそれぞれの施設での食育の事例発表や情報交換を実施し、地域での食育を推進する。	・食育に関する情報提供(資料送付) 128施設(青葉区:105 宮総:23) 対象:青葉区管内の食育担当者等 送付内容:子どもの肥満,朝食摂取,栄養成分表示の活用	○	青葉区	家庭健康課 宮総保健福祉課
		⑱食育サポーター養成と支援	・地域で活動する食育ボランティアの養成 ・食育サポーターグループが知識や情報の習得、調理技術を学ぶことができるよう、スキルアップ講座を開催する。 ・食育サポーターの活用(地区健康教育、スーパーマーケットとの連携事業、仮設住宅での講座、幼稚園と連携した講座)	・食育サポータースキルアップ講座 1回 参加者12名	○	宮城野区	家庭健康課
		⑲学校保健に関する懇談会を通しての情報発信	区内小中学校等の養護教諭や保健主事等を対象とした、学校保健に関する懇談会を開催し、地域の健康課題や健康教育の実施状況等を共有する。	・学校保健懇談会中止	○	若林区	家庭健康課
		⑳食育関係研修会	子どもの健康づくりや食育に関わる関係機関(保育所・保育園・幼稚園・小学校)が、子どもを取り巻く食や健康の課題を共有し、連携しながら食育を推進していくため、研修会や情報交換会等を行う。 食育関係機関、関係者のネットワークづくりをすすめるため、対象施設(保育所・保育園・幼稚園・小学校)の食育担当者を対象に、施設での食育の取組事例報告や意見交換ができる研修会を継続開催する。	・7月実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止となった。	○	太白区	家庭健康課
		㉑学校・保育所・地域栄養連絡会の開催	各機関における食育の取り組みや健康課題等について共有し、地域での食育や健康づくりを推進する	・中止	○	太白区	秋総保健福祉課
		㉒食育ボランティア団体を活用した食育の推進	児童館での健康教育、食育イベント等で、食育ボランティア団体を活用し、地域に向け食育の情報を発信する。	・新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から実施せず。	○	泉区	家庭健康課
		㉓地域と共に育む子どもの健康づくり事業	児童館と連携し、食生活、歯と口、喫煙防止をパッケージとした啓発により、学齢期からの望ましい生活習慣確立と、保護者への波及をねらった講座を開催する。	・食生活、歯と口、防煙をパッケージ化した人形劇のDVDを作成し、児童に対し、出前健康講座を児童館と連携して実施。 ・児童館6か所(富沢、東長町、中田、袋原コミュニティ児童館、東中田、東四郎丸)計228人へ健康教育を実施し、保護者向けパンフレットを配付。		太白区	家庭健康課
		㉔幼児食育連携事業	幼稚園と連携した食育プログラム(保護者に対する講演会、食育通信の配布、食育DVDの作成・配布、食育DVDを活用した園児への食育)の実施	・モデル施設(重点地区幼稚園)と連携し、野菜食育プログラムを実施し、野菜摂取を推進した。1施設255名		太白区	家庭健康課
(2)	青年期における健康的な食生活の重要性と改善への啓発を強化する	①大学生の食育プロジェクト	大学生との協働により、市民、特に若い世代の食の課題を共有し、関心を高めるための取り組みを企画する。	・新型コロナウイルス感染症拡大防止のためワークショップは実施せず。 ・昨年度事業で作成のレシピ集「Let'sベジライフ!〜野菜を使ったレシピ集〜」を大学の学生向けに配布した。3大学 150部		健康福祉局	健康政策課
		②若い世代の健康づくり支援事業	管内大学の新入生や、職員を対象とし、若い世代の食を含めた健康的な生活習慣の獲得につなげるための健康教育を実施する 区内専門学校生を対象に食育推進に関する啓発を行う。	・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止となった。 <再掲:重点1【1】(5)④> ・専門学校6校に対し啓発媒体配布 検診啓発・食育推進・受動喫煙防止リーフレット 3,470部	○	宮城野区	家庭健康課
		③管内大学での食育啓発活動	管内大学、大学生協との協働により、大学祭やイベントで健康的な食生活について啓発する。	・東北生活文化大学:若い世代の食生活の課題や仙台市の取り組みなどを職員がレクチャーし、食に関するニュースペーパーを学生が作成。活用について話し合った。(参加者10名)		泉区	家庭健康課
		④地域と連携した食育活動	地域と連携を図り、若い世代の健康的な食習慣形成を目指し、情報を発信する。	・太白区坪沼地区と連携し、地元野菜の魅力動画を発信することで若い世代の朝食と野菜摂取を目指した。動画は、坪沼野菜と地元料理、簡単な野菜零びの紹介とアレンジ等シリーズで作成した。計4本		太白区	家庭健康課
		⑤減塩のための啓発事業	循環器疾患や様々な生活習慣病の原因となる塩分摂取について、イベント、講座、推奨摂取量測定を通じ、減塩のための啓発を行う。	・お手軽とる塩チェック 年2回 15人 ※新型コロナ感染拡大防止により、お手軽とる塩チェック1回、イベント3回、講座1回中止		仙台市健康福祉事業団	仙台市健康増進センター
		⑥Facebookによる食の情報発信	健康政策課Facebookページ「仙台伊達なキッチン-だてきち」を立ち上げ、健康的な食生活を実践するための情報をコラムやレシピにより配信する。	・8月に開設し、毎週1回コラム、レシピの配信と事業の紹介等の内容を随時配信した。 配信状況:レシピ19回、コラム11回、その他6回 閲覧合計1,807回	○	健康福祉局	健康政策課
		⑦健康お役立ちレシピコンテストの実施	市民が考えた健康的な食事のレシピを募集し、その内容を市民に還元することで、市民が主体となる健康的な食習慣づくりを推進する。	・「野菜たっぷりワンプレート部門」と「減塩部門」で健康お役立ちレシピコンテストを開催(募集期間:9月7日~12月18日、審査:1月)し、最優秀賞2作品、優良賞6作品を決定。ホームページ健康政策課Facebookで最優秀賞作品を紹介。 ・レシピ集を作成し配布予定であったが、事業の遅れが生じたため、次年度に持ち越し。	○	健康福祉局	健康政策課

【2】高齢期の健康を支える食生活の実践支援

健康づくりの手法	取組事業	事業概要（令和2年度）	事業実施状況（令和2年度）	環境改善・整備	担当局・区	担当課
(1) 高齢者のフレイル予防の視点から栄養・身体活動等の関連性をふまえ、食事の重要性についての啓発と支援を強化する	①高齢者の食生活に関する地域健康教育	町内会、老人クラブ、地区社会福祉協議会のサロン等を対象とした、高齢者の栄養に関する健康教育	・健康教育の開催 7回 115人		健康福祉局	健康政策課
	②介護予防運動サポーター事業における健康教育	・介護予防運動サポータースキルアップ研修会での、健康的な食生活についての講話 ・サポーターを通じた地域の高齢者への普及啓発を図る。	・介護予防運動サポータースキルアップ研修会での食生活講話の実施 2回 27人		健康福祉局	健康政策課
	③食生活改善推進委員会における研修	食生活改善推進委員会の地区研修会で低栄養予防についての講話・調理実習を行い、推進員を通じた地域の高齢者への普及啓発を図る。	・新型コロナウイルス感染症拡大予防の観点より開催を見合わせた。		青葉区	宮総保健福祉課
	④シニア世代向け介護予防栄養講座	概ね65歳以上の方に対し、栄養士による栄養講話や調理実習を実施することで、高齢期における栄養バランスのとれた食事について啓発を行い、食生活の向上及び食の自立を目指す。	・7回開催 延べ85人		健康福祉局	地域包括ケア推進課
	⑤元気応援教室（通所型短期集中予防サービス）	要支援1、2と判定された方、または65歳以上で豊満力チェックリストにより事業対象者と判定された方に対して、運動機能、口腔機能向上に加えて、栄養改善のための講話を複合的に組み合わせた介護予防プログラムを短期集中的にデイサービスセンターやフィットネスクラブ等への通所により提供する。	・3クール実施 延べ115人		健康福祉局	地域包括ケア推進課
	⑥訪問型短期集中予防サービス	要支援1、2と判定された方、または65歳以上で豊満力チェックリストにより事業対象者と判定された方に対して、通所でのサービス利用が難しい場合に看護師・栄養士・歯科衛生士等が介護予防を目的とした訪問を行う。	・利用者 3人 延べ訪問回数 8回		健康福祉局	地域包括ケア推進課

【3】その他の取り組み

健康づくりの手法	取組事業	事業概要（令和2年度）	事業実施状況（令和2年度）	環境改善・整備	担当局・区	担当課
(1) その他の取り組み	①ホームページ等を活用した食の情報発信	市、区のホームページや、健康づくり情報コーナーを活用した、健康づくりや生活習慣病予防等、食に関わる情報発信	・市・各区のホームページの食育ページにて、食育関連情報や栄養成分表示の活用、おすすめレシピの紹介、関係機関へのリンク等の内容を掲載。随時更新。	○	健康福祉局	健康政策課
	②食育月間、健康増進普及月間行事、地域のイベント等を活用した啓発	市政だよりへの記事掲載、パネル展示、資料、レシピ、啓発物の配布等により、市民に広く啓発	・食育月間に合わせ、パネル展の開催。合わせて食に関する資料の配布を行った。食育月間パネル展 6回、資料配布 延299部 ・食育の日に合わせ、庁内放送や資料配布を行った（庁内放送 延べ42回 資料配布数 2286部） ・健康増進普及月間事業におけるパネル展の実施（延べ9回 資料配布数 464部） ・区民まつり（新型コロナウイルス感染症拡大防止のためパネル展で代替）での食育啓発 1回		健康福祉局	健康政策課
	③各市民センターにおける関連講座等の実施	児童・生徒、子育て世代から壮年期までのあらゆる世代、また男性を対象とした、食に関する講座や調理実習などを通して、健康的な食生活に対する興味・関心を深め、実践するきっかけ等を学ぶ講座を実施する。	（※集計中につき未確定） 以下参考（令和元年度の実績） ・19館で24事業実施し、延べ2,930人が参加		教育局	生涯学習支援センター
	④食肉の生食等、食習慣の変化により増加している食中毒などを未然に防止するための情報発信	・インターネットホームページや市政だより、パンフレット等で広く市民に情報を提供する。 ・乳幼児健診時に子育て世代にパンフレットを配布したり、市政出前講座で説明することにより、特に重症化しやすい小さな子どもや高齢者をこれらの健康被害から守る。 ・市民向けの食品衛生講習会を実施する。 ・せんだい食の安全サポーター会議において、食品衛生情報を提供する。 ・せんだい食の安全情報アドバイザーによる食品衛生普及啓発活動を実施する。 ・食品の安全性に関する市民向け講演会を開催する。	・市HPでの啓発 ・市政だより6月号に啓発記事掲載 ・パンフレットの配布：3005部 ・市政出前講座：新型コロナウイルス拡大防止のため未実施 ・市民向け食品衛生講習会：13回、270名 ・せんだい食の安全サポーター会議：新型コロナウイルス拡大防止のため未実施 ・せんだい食の安全情報アドバイザーによる食品衛生普及啓発活動：新型コロナウイルス拡大防止のため未実施 ・食品の安全性に関する市民向け講演会：2/12オンラインにて実施		健康福祉局	生活衛生課
	⑤食で健康サポート店推進事業	食で健康サポート店（栄養成分表示、バランスメニュー、野菜たっぷりメニュー、塩エコメニュー）の参加店を増やす。市民に、食で健康サポート店参加店を紹介すると共に、栄養表示の活用方法を周知することで、食生活に関する情報を発信する。	・登録店舗数 90店舗	○	健康福祉局	健康政策課

【重点分野4】生きる力を支える歯と口の健康づくり

【1】子どものむし歯の地域差，個人差の解消

健康づくりの手法	取組事業	事業概要（令和2年度）	事業実施状況（令和2年度）	環境改善・整備	担当局・区	担当課
(1) 乳歯萌出期から学齢期までの連続したむし歯予防対策推進に向けた環境を整備する	①フッ化物歯面塗布助成事業 ②3歳児カリエスフリー85プロジェクトの推進（令和2年度まで）	歯の生え始めからの継続的な実施により、むし歯予防に効果的とされる、フッ化物歯面塗布の初回利用を公費助成することにより、低年齢からのむし歯予防対策の普及啓発を図る。	・令和3年度より事業開始	○	子供未来局	子供保健福祉課
		3歳児カリエスフリー85プロジェクト推進のため、8～9か月児乳児健康診査において小児科医から「☆せんだい☆でんたるノート」配布し、乳歯の生え始め時期からの取り組みの重要性を啓発する。	【健康政策課にて実施】 ・3歳児カリエスフリー85プロジェクト推進に係る媒体作成及び保護者への配布 「せんだい☆でんたるノート」「協力歯科医療機関リスト」 「8-9か月のお子さんの保護者の方へ」各13,000部作成		健康福祉局	健康政策課
		育児グループ、児童館・児童センター、子育て支援室等との連携による歯科健康教育を行い、むし歯になりにくい生活習慣の確立と歯と口の健康づくりの実践を支援する。	・歯科健康教育：支倉子育て支援センター1回12名 ・子育て支援センター：歯科保健教室…3回-43人 ・児童館等：歯科健康教育…1回-17人		青葉区	家庭健康課
			・健康教育：0回0人 ※新型コロナウイルス感染症の影響のため鶴ヶ谷西児童館の健康教育は中止		青葉区	宮総保健福祉課
			・サロン4回46人（蒲町保育所子育て支援センター12人、ダーナ保育園子育て支援室34人）		宮城野区	家庭健康課
			・健康教育 2回9人 子育て支援センター 1回4人、のびすく 1回5人		若林区	家庭健康課
			・健康教育:2回-16人		太白区	家庭健康課
					泉区	家庭健康課
		小規模保育事業施設等を中心に乳歯萌出期からの歯と口の健康づくりの重要性を周知するとともに、カリエスフリー85プロジェクトを啓発する。	・啓発文書送付 93施設 小規模保育園31施設/保育ママ12施設/事業所内保育7施設/ 企業主導型保育9施設/認可外保育14施設/児童館20施設 ・管内小規模施設 15ヶ所（事業概要でんたるノート等配布）		青葉区	家庭健康課
		1歳児歯科保健教室「歯ッピー教室」を実施し、むし歯予防と食事やおやつの話、歯科健康診査と仕上げみがきの練習、フッ化物体験等を実施する。	・子育て支援センター：歯科保健教室…3回-43人 ・児童館等：歯科健康教育…1回-17人		若林区	家庭健康課
		「すくすく育児相談」等のなかで、歯科講話・相談を実施し、むし歯になりにくい生活習慣の定着を支援するとともに、乳歯萌出期からの、かかりつけ歯科医における定期健診や予防処置などを勧奨する。	・岩切すくすく育児相談：1回3人 ・高砂すくすく育児相談：1回4人 ・歯科相談：5人（電話3人/来所3人） ※新型コロナウイルス感染症の影響により、岩切1回なし・高砂1回なし		青葉区	家庭健康課
		「母と子の健康相談」や「児童館等連携事業」を実施し、健康的な食習慣の基盤づくりや望ましい生活習慣や歯科保健行動の定着を支援する。	・母と子の健康相談25回25人（センター7人、七郷保健センター13人、六郷市民センター5人）		若林区	家庭健康課
		幼児健診に従事する小児科医・歯科医他、多職種による懇談会においてカリエスフリー85プロジェクトの進捗状況等について情報を共有する。	・新型コロナウイルスの感染症の影響で実施無 ・幼児健診懇談会：1回24人 ・中止（資料送付） ・幼児健診懇談会 新型コロナウイルス感染症対策のため実施せず資料送付		青葉区	家庭健康課
		1歳児むし歯予防啓発（バースデーカード）を送付し、健康的な生活習慣や望ましい歯科保健行動を身に着けるための啓発を行う。	・22名へ送付		宮城野区	家庭健康課
		「1歳の歯みがき教室」を実施し、むし歯予防と食事やおやつの話、歯科健康診査と仕上げみがきの練習等を実施する。	・コロナウイルス感染症拡大防止の観点から。実施せず。		太白区	家庭健康課
			泉区	秋総保健福祉課		
			泉区	家庭健康課		

③子育て支援施設における 歯科保健・食育推進事業	児童館等の子育て支援施設と地域課題を共有し、解決のための 教室等と一緒に企画し実施する。	・資料配布100：5児童館（六郷児童館20部、七郷児童館30部、若林児童館20部、沖野マイ ス クール児童館10部、大和児童館20部） ・パネル掲示：7児童館 ・児童館だより啓発記事掲載：5児童館	○	若林区	家庭健康課
④離乳食教室や乳幼児健診 及び事後指導等における歯 科保健指導	各種教室や乳幼児健診等での保健指導の充実を図り、むし歯発 症リスクを減らす。 また、むし歯ハイリスク児への事後指導等で継続支援を行う。	・離乳食教室：3回—15人：コロナ2回（5月・3月）中止 1月は集団は実施せず個別相談による実施（7組来所うち歯科相談3件） ・離乳食教室2回14名 ・幼児健診 1.6-35回1426名/2.6-14回1422名/3.7-17回1246名 ・事後指導 1.6事後29名/2.6事後43名 ・幼児健診：1.6健診38回1712人、2.6健診1581人（集団15回554人/個別1027人） 3.7健診1416人（集団18回772人/個別644人） ・幼児健診歯科事後指導：1.6事後66人（文書60人/電話6人） 2.6事後26人（文書25人/電話1人）3.7事後1人（電話1人） ・離乳食教室：6回74組 ・3-4か月育児教室：1696人※新型コロナウイルス感染症のため教室は中止、 教育文書発送のみ ・離乳食教室6回 44人 ・事後指導：1.6健診90人（文書指導90人）、2.6健診70人（電話1人、文書指導69人）、 3歳児健診0人 ・離乳食教室7回 99人 1.6健診—40回 1985人 2.6健診—16回+個別健診 2049人 3歳児健診—22回+個別健診 1771人 幼児歯科健診事後指導 154人（1.6健診132人 2.6健診22人） ・1.6健診事後：文書131人・2.6健診事後：文書56人 泉すくすく相談：3回16人		青葉区 青葉区 宮城野区 若林区 太白区	宮総保健福祉課 家庭健康課 家庭健康課 家庭健康課 家庭健康課
⑤幼児健診におけるフッ化 物応用の啓発	幼児健診や地域健康教育等でフッ化物に関する正しい知識の提 供と活用法を周知する。	・地域健康教育 <再掲：重点4【1】(1)②> ・幼児健診 <再掲：重点4【1】(1)④> ・離乳食教室 <再掲：重点4【1】(1)④> ・幼児歯科健診（来所）20回1164人 （個別健診）676人 ・幼児健診で啓発リーフ配付（送付） 幼児健診：1.6健診38回1712人、2.6健診1581人（集団15回554人/個別1027人） 3.7健診1416人（集団18回772人/個別644人） <再掲：重点4【1】(1)④> ・1歳6か月児健康診査 26回 1216人 ・2歳6か月児歯科健康診査 11回 363人 ・3歳児健康診査 14回 582人 ・健康教育 2回9人 <再掲：重点4【1】(1)②> ・離乳食教室 7回99人 <再掲：重点4【1】(1)④> ・幼児健診 78回+個別健診5805人 <再掲：重点4【1】(1)④> 新型コロナウイルス感染症対策で集団指導が実施できないため、健診会場で動画を放映し た。 ・1.6健診：35回-1465人・2.6健診：15回-1480人・3歳児健診16回-1357人 ・健康教育：2回-16人		青葉区 青葉区 宮城野区 若林区 太白区 泉区	家庭健康課 宮総保健福祉課 家庭健康課 家庭健康課 家庭健康課 家庭健康課
⑥ハイリスク児及び保護者 への健康教育	母子保健事業（地区支援者や要フォロー児の教室）や障害児施 設等との連携により、ハイリスク児の保護者に向けた歯科保健 の健康教育を実施する。 （新型コロナウイルス感染予防の対策のため、春季の歯科検診は 中止）	・まめっこの会4回8名（個別対応） ・障害児施設歯科保健指導 1回9名 ・幼児歯科健康診査事後指導（文書教育・電話）-66人 ・幼児健診歯科事後指導：1.6事後66人（文書60人/電話6人） 2.6事後26人（文書25人/TEL1人）3.7事後1人（電話1人）<再掲：重点4【1】(1)④> ・障害児施設保護者健康教育 3回31人（田子西たんぼぼホーム2回15人、あおぞらホーム1回16人） ※新型コロナウイルス感染症の影響により、春・秋の歯科健診は中止。 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、なかよし学園の秋期歯科健康教育は中止。 ・歯科健診中止 資料配布：保護者向け30部、職員向け10部 ・障害児施設は主管課（障害者支援課）により、新型コロナウイルス感染予防の対策のため、 歯科検診・ブラッシング指導は中止、歯科保健指導（保護者等への講話）のみの実施の判断 あり。保護者講話の実施なし。 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から。実施せず。		青葉区 青葉区 宮城野区 若林区 太白区 泉区	家庭健康課 宮総保健福祉課 家庭健康課 家庭健康課 家庭健康課 家庭健康課

⑦保育所・幼稚園等歯科健康診査集約事業におけるフッ化物応用の啓発と利用促進	保育所・幼稚園・認定こども園への歯科健診結果還元にあわせて、フッ化物応用の啓発とフッ化物洗口実施施設への支援を継続する。	・55施設 保育所(園)36施設/幼稚園12施設施設/認定こども園7施設	○	青葉区	家庭健康課
		・18施設(保育所:13、幼稚園:4、認定こども園:1) (洗口実施施設:12、洗口未実施施設:6)	○	青葉区	宮総保健福祉課
		・区内61施設 歯科健診分析結果報告60施設 (保育所(園)35施設、幼稚園15施設、認定こども園10施設)	○	宮城野区	家庭健康課
		・管内保育所・幼稚園施設 46施設 ・歯科健診事後指導文書作成・配布 46施設	○	若林区	家庭健康課
		・管内68施設 (市立保育所10施設 私立保育所34施設 幼稚園16施設 認定こども園8施設) ・併せて、せんだいTube・太白区チャンネル(YouTube)の歯科保健に関する情報(動画)を紹介した掲示物を配布 ・歯科健診結果還元:53施設-6459人	○	太白区	家庭健康課
⑧フッ化物洗口導入支援事業	フッ化物洗口を希望する保育所・幼稚園に対し、技術支援及び必要物品の補助を行う(研修会・説明会の開催等)フッ化物洗口マニュアルを活用し、円滑な導入と実施を支援する。	・フッ化物洗口実施32施設には電話で状況調査を実施 ・訪問36回、職員研修1回10名、青葉ブロック所長会1回9名	○	青葉区	家庭健康課
		・18施設(洗口実施施設薬剤管理:12、洗口未実施施設打ち合わせ:6) 保護者研修:洗口実施施設1施設-27人	○	青葉区	宮総保健福祉課
		・フッ化物薬剤管理調査等訪問:28回 ・職員説明会:4回34人	○	宮城野区	家庭健康課
		・新規施設 0施設、保護者説明会 2回 28人、職員説明会 0回 実施調査等訪問 26回	○	若林区	家庭健康課
		・新規参加施設 なし ・職員研修会 1回10人 ・実施状況調査等訪問 27回 ・洗口指導:2回 ・薬剤管理指導:17回	○	太白区	家庭健康課
⑨私立幼稚園・私立保育所・認定こども園フッ化物洗口事業継続実施補助金事業	フッ化物洗口導入支援事業に参加した施設を対象として、洗口開始2年目以降の継続実施にかかる費用の一部を助成する。	・私立幼稚園・認定こども園 交付園数...38施設、参加児童数...4歳児1,511人 5歳児1,504人	○	子供未来局	認定給付課
		・私立保育所 交付園数...73園、参加児童数...4歳児1,157人 5歳児1,357人	○	子供未来局	運営支援課
⑩市立保育所フッ化物洗口事業	市立保育所の4.5歳児を対象に、フッ化物洗口事業を実施し歯と口の健康を保ち、心や身体の健康づくりを図る。	・公立保育所35施設において、4歳児、5歳児において実施した。 実施人数は4歳児632人、5歳児638人	○	子供未来局	運営支援課
⑪市立幼稚園フッ化物洗口事業	市立幼稚園の年長児を対象に、フッ化物洗口事業を実施し歯と口の健康を保ち、心や身体の健康づくりを図る。	・市立幼稚園の年長児を対象に、フッ化物洗口事業及び2月に年中児の保護者を対象に洗口説明会を実施。	○	教育局	健康教育課
⑫保育士研修会、保育所長会、民間保育園長会、認定こども園施設長会における啓発事業	保育士や保育所長等を対象に歯科保健活動推進にかかる研修会等を開催する。	・通町ハピネス保育園 職員説明会 1回10名、青葉ブロック所長会 1回9名 <再掲:重点4【1】(1)⑧> ・公立保育所ブロック所長会歯科講話:1回7人	○	青葉区	家庭健康課
		・ブロック所長会議 1回 5人	○	宮城野区	家庭健康課
		・保育所長会等 新型コロナウイルス感染対策のため実施なし	○	若林区	家庭健康課
		・保育所長会:1回-4人	○	太白区	家庭健康課
		○	泉区	家庭健康課	
⑬地域における学校懇談会の開催	保健所支所において、地域の学校関係者との懇談会を開催し、取り組みの方向性を共有する。	・学校保健懇談会中止	○	若林区	家庭健康課
⑭小学校における歯科保健活動の推進	学校保健に係る懇談会を通じて、学校関係者と取り組みの方向性を共有する。学校における健康教育の充実のため、啓発媒体を貸し出す。 歯と口の健康週間に合わせ、小学校での歯科健康教育を実施する。	・なし	○	若林区	家庭健康課
		・中止		太白区	秋総保健福祉課

	⑯学齢期の歯と口の健康づくり推進	児童・生徒の健康課題や、青年期の健康課題に応じた内容の、健康教育を学校や関係者と連携して実施できるよう、「学齢期の歯と口の健康づくりマニュアル」を製作する	・学齢期の歯と口の健康づくりマニュアルを用いた養護教諭研修会：中止	○	健康福祉局	健康政策課
		児童・生徒の健康課題や、壮年期の健康課題に応じた内容の、健康教育を学校と連携して実施する。	・鶴ヶ谷東小学校（就学時健診の子育て講座として）歯科健康教育 保護者30人 <再掲：重点1【1】(1)②>		宮城野区	家庭健康課
		児童館に来館している児童を対象に歯科健康教育を行い、来館児童の口腔に対する健康意識を向上させるとともに児童館職員への啓発を図る。	・食生活、歯と口、防煙をパッケージ化した人形劇のDVDを作成し、児童に対し、出前健康講座を児童館と連携して実施。 ・児童館6か所（富沢、東長町、中田、袋原コミュニティ児童館、東中田、東四郎丸）計244人へ健康教育を実施し保護者向けパンフレットを配付。		太白区	家庭健康課
	⑰学校歯科保健研修会の開催	養護教諭を対象に学校歯科保健における基礎的な研修会を開催する。	・新規採用、5年経験者、10年経験者の養護教諭を対象に研修を実施。内容は、歯科保健の最新情報、けがの応急手当等。	○	教育局	健康教育課
	⑰歯の衛生モデル校事業	歯の衛生モデル校における先進的な取組を市立学校に向けて紹介する。（歯の衛生モデル校を3校認定）	・6月8日歯と口の健康週間市民のつどいは中止となった。歯の衛生モデル校を3校認定した。	○	教育局	健康教育課

【2】若い世代からの歯周病予防対策の強化と口腔機能向上の啓発

健康づくりの手法	取組事業	事業概要（令和2年度）	事業実施状況（令和2年度）	環境改善・整備	担当局・区	担当課
(1) 歯周病予防に向けたセルフケア知識、技術の獲得支援と専門的ケアの利用を促進する	①全国小学生歯みがき大会への参加	全国小学生歯みがき大会（主催：（一社）日本学校歯科医会）への参加校の小学5年生を対象に歯と口の健康づくりの啓発と歯間部清掃器具を使用した歯みがきの実践支援を行った。	・全国小学生歯みがき大会（主催：（一社）日本学校歯科医会）への参加校の小学5年生を対象に歯と口の健康づくりの啓発と歯間部清掃器具を使用した歯みがきの実践支援を行った（参加校31校）。		教育局	健康教育課
	②歯肉炎予防対策モデル事業	地域保健とモデル中学校との連携により、中学生の歯肉炎予防を啓発する。	・広瀬中学校：情報共有のみ（学校保健委員会・子育て支援ネットワーク会議）		青葉区	宮総保健福祉課
	③青年期における歯と口の健康づくり	専修学校、短期大学、高等専門学校、大学の健康教育において、就職活動前の学生を対象に口腔ケアの必要性の啓発と実践を支援する。	・若い世代の健康づくりニュースレター配付 専門学校26校 <再掲：重点1【1】(5)④> ・20歳のデンタルケア検診啓発リーフ配布：専門学校6校1735部 ・デンタルフロス配布：専門学校2校451本 ・東北工大 大学祭・学生対象歯科講話等 新型コロナウイルス感染対策のため実施せず		青葉区 宮城野区 太白区	家庭健康課 家庭健康課 家庭健康課
	④成人期の各種相談・教室の充実	成人市民を対象とした健康相談・教室において、歯と口の健康のセルフケア知識・技術を支援し、歯と口の自己管理能力の向上を推進する。	・新型コロナウイルスの感染症の影響で実施無		青葉区	家庭健康課
			・実施なし		青葉区	宮総保健福祉課
			・健康生活講座 歯科講話 1回9人 ・歯科相談 4人（電話1人/来所3人） ・健康教育 1回14人		宮城野区 太白区	家庭健康課 家庭健康課
			・中止		太白区	秋総保健福祉課
			・コロナウイルス感染症拡大防止の観点から。実施せず。		泉区	家庭健康課
	⑤検診体制の整備	青年期の受診率向上に向けた20歳のデンタルケア事業の未受診者対策を進める。 妊婦歯科健診、20歳のデンタルケア事業、歯周病検診の精度管理の充実に努めるとともに、保健指導を強化する。（歯と口の健康づくりネットワーク会議は書面開催） 基礎健診・特定健診の間診に「食事をかんで食べる時の状態」を新設し、状況に応じた保健指導と受診勧奨を行う。	・仙台市広報課Facebookにて情報発信 ・ポスター-2,500部作成 ・配付先：医療機関（医科、歯科）薬局、大学・専門学校等へ配布	○	健康福祉局	健康政策課
			・歯と口の健康づくりネットワーク会議等において、健診実績等に基づき効果の検証を行っている。	○	健康福祉局	健康政策課
・歯と口の健康づくりネットワーク会議等において、健診実績等に基づき効果の検証を行っている。			○	子供未来局	子供保健福祉課	
		・特定健康診査（40～74歳の仙台市国保加入者）63,322人 基礎健診（35～39歳/75歳以上の市民）41,891人に 健診医療機関における事後指導の際に活用するリーフレットを配布	○	健康福祉局	保険年金課	

	⑥口腔機能維持・向上の支援事業	70歳、75歳、80歳の方へ豊齢力チェックリストを郵送し、「口腔機能向上」に関する項目のセルフチェックを通じて啓発を行う。 事業者研修会等において、「介護予防口腔機能向上プログラム」を踏まえた高齢期の口腔機能維持・向上に係る啓発を行い、多職種連携で取り組みを推進する。	・豊齢力チェックリストを28,308人に送付 ・口腔機能の項目で基準より得点が上回った方に対し、必要に応じた介護予防等のサービスやケアを推奨した。	健康福祉局	地域包括ケア推進課
			・新型コロナウイルスの感染症の影響で実施無	青葉区	家庭健康課
			・実施なし	青葉区	宮総保健福祉課
			・被災者支援運動教室における啓発：2回19人 ・岩切ブロック個別訪問における啓発：80人	宮城野区	家庭健康課

【3】生涯を通じた歯と口の健康づくり推進

健康づくりの手法	取組事業	事業概要（令和2年度）	事業実施状況（令和2年度）	環境改善・整備	担当局・区	担当課
(1) 生涯を通じた歯と口の健康づくり推進の体制整備を図る	①多様な手法を活用した分かりやすい情報の発信と普及啓発	ホームページ、フェイスブック、情報コーナー、歯と口の健康週間・歯と口腔の健康づくり月間等を活用した啓発を行う。	・歯と口の健康づくり週間・歯と口腔の健康づくり月間 情報コーナー/懸垂幕/デジタルサイネージ 啓発ポスター等送付・配付	青葉区	家庭健康課	
			・歯と口の健康週間、歯と口腔の健康づくり月間 パネル展、庁内放送、横断幕掲示、案内ディスプレイ放映 児童館啓発ポスター配布：20施設、歯科媒体貸出：3施設 ・職域連携啓発リーフ配付：2回144人 ・積極的支援事業所情報提供：4施設	宮城野区	家庭健康課	
			・ホームページ更新 4回（6月、11月） ・歯と口の健康週間：パネル展中止、情報コーナー48（リーフレット配布数）、小規模保育施設15ヶ所（資料送付） ・歯と口腔の健康づくり月間：パネル展 1142（リーフレット配布数）、情報コーナー1ヶ所 84（リーフレット配布数） ・健康フェスティバル：中止	若林区	家庭健康課	
			・歯と口の健康づくり週間パネル展、ポスター送付等 ・歯と口腔の健康づくり月間パネル展等 ・歯科保健に関する情報（動画）をせんだいTube・太白区チャンネル（YouTube）で発信	太白区	家庭健康課	
			・庁舎ロビーにて、歯と口の健康週間パネル展実施	太白区	秋総保健福祉課	
			・歯と口の健康週間：パネル展・ポスター等による啓発 ・歯と口腔の健康づくり月間：パネル展・健康増進普及月間・懸垂幕の掲示(11月)	泉区	家庭健康課	
	②生涯を通じて「かかりつけ歯科医」を持つことの推進	母子保健事業や成人保健事業・介護予防事業において「かかりつけ歯科医」を持つことの重要性・必要性を啓発する。	・母子保健事業 <再掲：重点4【1】(1)②・④・⑦> ・成人保健・介護予防保健事業 <再掲：重点4【2】(1)③・④> ・啓発事業 <再掲：重点4【3】(1)①>	青葉区	家庭健康課	
			・母子保健事業 <再掲：重点4【1】(1)②・④・⑥> ・成人保健・介護予防保健事業 <再掲：重点4【2】(1)④・⑤> ・啓発事業 <再掲：重点4【3】(1)①>	宮城野区	家庭健康課	
			ヘルスアップ通信 1回 1120（発行部数） 1歳6か月児健康診査 26回 1216名 2歳6か月児歯科健康診査 11回 363名 3歳児健康診査 14回 582名 <再掲：重点4【1】(1)②・③・④>	若林区	家庭健康課	
			<再掲：重点4【1】(1)⑤>	太白区	家庭健康課	
				泉区	家庭健康課	
				健康福祉局	健康政策課	
③かかりつけ歯科医機能の推進	歯科医療機関が参加する「フッ化物歯面塗布事業」「妊婦歯科健康診査」「成人歯科健康診査」事前説明会等において、「かかりつけ歯科医機能」や市民の取り組みの支援の在り方を共有する。	【健康政策課、子供保健福祉課で実施】 ・妊婦歯科健康診査事前説明会：56人 ・フッ化物歯面塗布助成事業：265人 ・成人歯科健康診査事業説明会：441人 ※動画視聴	○	健康福祉局	健康政策課	
		【区家庭健康課、支所保健福祉課、健康政策課、子供保健福祉課で実施】 ・歯と口の健康づくりネットワーク会議及びむし歯予防推進部会合同会議：書面開催2回	○	健康福祉局	健康政策課	
④歯と口の健康づくりネットワーク会議及び各種推進部会の開催	保育所・幼稚園・学校・保護者・保健医療関係者等の参画を得て、幼児期から学童期の一貫した歯と口の健康づくりを推進するための実践に向けた検討と進捗管理を行う。 (新型コロナウイルス感染症予防の対策のため、会議の開催は中止し資料送付)					

【4】その他の取り組み

健康づくりの手法	取組事業	事業概要（令和2年度）	事業実施状況（令和2年度）	環境改善・整備	担当局・区	担当課
(1) セルフケアが困難な方の歯と口の健康づくり推進の体制整備を図る	①障害児施設歯科健診事業	障害児通所施設において歯科健診と保健指導を実施している。施設が主体的に歯科保健活動に取り組めるよう、また、保護者が適切なホームケアやかかりつけ歯科医での定期予防管理を受けられるよう健康教育を行う。 (新型コロナウイルス感染予防の対策のため、春季の歯科検診は中止)	・障害児施設歯科保健指導 1回9名 <再掲：重点4【1】(1)⑥> 立町たんぼぼホーム1回9名講話のみ (なのはなホームは実施せず)		青葉区	家庭健康課
			<再掲：重点4【1】(1)⑥> ・障害児施設における歯科講話 3回 31人 (田子西たんぼぼホーム2回15人、あおぞらホーム1回16人) ※新型コロナウイルス感染症の影響により、春・秋の歯科健診は中止 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、なかよし学園の秋期歯科健康教育は中止		宮城野区	家庭健康課
			<再掲：重点1【1】⑤> ・上飯田たんぼぼホーム（健診中止） 資料配布：保護者向け30部、職員向け10部		若林区	家庭健康課
			・1施設 1回11人（職員研修）<再掲：重点4【4】(1)⑥> (主管課：障害者支援課 新型コロナウイルス感染予防の対策のため、歯科検診・ブラッシング指導は中止、歯科保健指導（保護者等への講話）のみの実施とする) ・コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、実施せず。		太白区	家庭健康課
					泉区	家庭健康課
	②障害者施設歯科健康教育	障害者施設の職員を対象に歯科健康教育を実施し、施設における日常の歯科保健活動の推進を図る。	・健康教育 0回0人 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、つどいの家の歯科健康教育は依頼なし		宮城野区	家庭健康課
			・上飯田たんぼぼホーム 資料配布：保護者向け30部、職員向け10部		若林区	家庭健康課
			・1施設 1回11人（職員研修）<再掲：重点4【4】(1)①>		太白区	家庭健康課
	③在宅医療関係者への研修会	ケアマネジャーをはじめとする関係者向け研修会において、口腔ケアや口腔機能維持向上の重要性や具体策を周知する。	【介護事業支援課、健康政策課で実施】 ※新型コロナウイルス感染症の影響により研修会は開催せず		健康福祉局	健康政策課

【重点分野5】大切な人の健康を守るたばこ対策の推進

【1】喫煙に関する正しい知識の啓発

健康づくりの手法	取組事業	事業概要（令和2年度）	事業実施状況（令和2年度）	環境改善・整備	担当局・区	担当課		
(1) たばこが及ぼす健康影響について啓発を行う	①たばこの健康への影響について正しい情報が得られるよう、多様な手法を活用した分かりやすい情報の発信と普及啓発	ホームページ、情報コーナー・健康づくり講座、イベント、世界禁煙デー・禁煙週間事業を活用した啓発を行う。	・世界禁煙デー啓発 ①パネル・ポスター掲示、パンフレット配布（庁舎2階・3階情報コーナー） ②ポスター配布（区内コミュニティセンター、専門学校） ③庁内放送による啓発 ④啓発ポップ（各階トイレ手洗い場） ・1月の情報コーナーにおける健康づくり情報提供 ・若い世代の健康づくりニュースレター2月（冬号）に喫煙のリスクについて記事掲載。 （区内専門学校26校に配布,仙台市ホームページに記事データ掲載）		青葉区	家庭健康課		
			・世界禁煙デー・禁煙週間：庁内放送による啓発		青葉区	宮総保健福祉課		
			・「世界禁煙デー」「禁煙週間」パネル展示 ・自動車学校,児童館等へのポスターやちらしの設置依頼。 ・たばこ税があがった10月に合わせ,児童館に受動喫煙防止ポスター,禁煙相談のちらしを設置依頼。 ・区内専門学校6校に対し,新型タバコの害を含めた資料を配布。 ・区内小学校2校の6年生向け223名に防煙教育実施。		宮城野区	家庭健康課		
			・世界禁煙デーにおける健康情報コーナーでのパネル展示,庁内放送による啓発		若林区	家庭健康課		
			・区役所1階情報コーナー・ロビー、秋保総合支所、ララガーデン長町でのパネル展。 ・家庭健康課・保育給付課・管理課窓口、保健センター窓口、母子保健事業受付カウンターに桌上媒体設置。 ・庁内放送実施。		太白区	家庭健康課		
			・庁舎ロビーにて,禁煙週間パネル展実施		太白区	秋総保健福祉課		
			・ホームページ、泉区Facebook、市政だよりに情報掲載。世界禁煙デーと禁煙週間(5月)に情報コーナーにてたばこが及ぼす健康影響について啓発を行った。		泉区	家庭健康課		
			・健康づくり講座やイベントなどは新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止。情報コーナーにおいて禁煙啓発を行った。		仙台市健康福祉事業団	仙台市健康増進センター		
			②喫煙防止教育の実施	学校・児童館等と連携した喫煙防止教育の実施を支援する。	・児童館6か所（富沢、東長町、中田、袋原コミュニティ児童館、東中田、東四郎丸）計228人へ健康教育を実施。 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から実施せず。 ・以前実施した防煙教室のアンケート結果より,家族の喫煙率が泉区の喫煙率の平均より高い地域の児童館・児童センターを選定,児童・保護者向けのたばこの害に関する啓発チラシ1010部、シールや塗り絵の啓発グッズ1040部の設置を依頼。 ・薬物乱用防止、防煙キャンペーン11月17日は中止となった。 （仙台市教育委員会共催）		太白区	家庭健康課
			③大学や専門学校と連携した防煙教育	若い世代への健康づくり支援事業の一環として、専門学校で教職員や学生が自ら企画し、取り組めるよう支援する。 大学の新生を対象に「健康的な食生活、歯と口の健康、防煙、心の健康」についての総合的な健康教育を行う。	・新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から訪問はせず,区内の専門学校（4校）,短期大学・大学（5校）に啓発ポスター20枚を送付。 ・例年、東北工業大学1年生対象に健康教育を実施していたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため実施できず。		泉区	家庭健康課
(2) 未成年者の喫煙を防止する環境づくり	①小中学校と連携した防煙教育	学校保健に関する懇談会を通し学校と連携し、スキル学習を取り入れた防煙教育実施の支援を行う。学校の要望により、アルコール、薬物乱用についても支援する。	・防煙教育（薬剤師の講話）小学校2校 中学校1校 計263名参加		若林区	家庭健康課		
			・母子手帳交付時：7,989人		各区	家庭健康課 保健福祉課		
			・母子手帳交付時に喫煙している世帯に対し,禁煙相談のちらしを配布（令和2年10月より） ・母子手帳交付・妊婦の転入手続き時にチラシ配布		宮城野区 太白区	家庭健康課 秋総保健福祉課		
(3) 妊産婦や家族に対して、喫煙が及ぼす健康影響や再喫煙防止についての啓発を行う	②両親教室での普及啓発	両親教室時に、たばこの健康影響や受動喫煙等のチラシの配布やミニ講話を実施し、パートナーが禁煙について考える機会とする。	・新米パパママ教室における受動喫煙に関する啓発50名		若林区	家庭健康課		

	③育児教室や新生児訪問での再喫煙防止の啓発	出産後に、再喫煙となる母親がいることから、自身へのたばこの健康影響と子どもへの受動喫煙に関して情報提供する。	・新型コロナウイルス感染拡大防止のために3～4か月児育児教室が中止となったため、集団指導時のパネルを用いての説明、啓発チラシの配布無し。	青葉区	家庭健康課
			・新生児訪問指導の際、両親の喫煙状況に応じて、禁煙に関する情報提供を行った。	宮城野区	家庭健康課
			・新生児訪問指導員、家庭健康課職員を対象に研修を実施し、乳幼児をもつ親への禁煙の動機づけ方法や新型タバコのリスクについて理解する機会を設けた。21名参加。	太白区	家庭健康課
			・新生児訪問にて、啓発資料配布、個別禁煙相談の情報提供	太白区	秋総保健福祉課
			・例年、3～4か月児育児教室でたばこの害についての講話をしていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため育児教室が中止となり実施できず。対象者への資料送付時に、個別禁煙相談の案内を送付した。	泉区	家庭健康課

【2】たばこをやめたい人への禁煙支援

健康づくりの手法	取組事業	事業概要（令和2年度）	事業実施状況（令和2年度）	環境改善・整備	担当局・区	担当課
(1) たばこをやめたい人への禁煙支援	①禁煙支援医療機関と禁煙支援薬局の情報提供	情報コーナーや世界禁煙デーなどの事業を活用した情報提供を行う。	・禁煙相談の実施（4人）	青葉区	家庭健康課	
			・世界禁煙デーにおけるパネル展及びリーフレットの配布	若林区	家庭健康課	
			・禁煙チャレンジャー（個別禁煙相談）時に、必要時情報提供をした。	太白区	家庭健康課	
	②個別禁煙支援	希望者に対し、面接や電話等により禁煙を支援する。	・禁煙支援医療機関一覧を作成し希望者へ配布	太白区	秋総保健福祉課	
			・面接にて情報提供6件	泉区	家庭健康課	
			・禁煙相談の実施（1人）	青葉区	宮総保健福祉課	
		・禁煙指導実施件数7件。禁煙達成者3名（昨年度からの支援者含む）。	宮城野区	家庭健康課		
		・【相談6件】禁煙成功3名、禁煙外来・禁煙支援薬局紹介1名、禁煙開始できず2名	太白区	家庭健康課		
		・個別健康教育 ・新規禁煙指導開始者：12名、前年度からの継続者：4名 （今年度の電話での支援：延べ105回、面接での支援：延べ13回） ・単発の禁煙相談件数：6件	泉区	家庭健康課		

【3】受動喫煙防止対策の更なる推進

健康づくりの手法	取組事業	事業概要（令和2年度）	事業実施状況（令和2年度）	環境改善・整備	担当局・区	担当課
(1) 受動喫煙防止対策ガイドラインの周知を強化する	①受動喫煙防止対策施設登録制度	制度の周知をし、登録件数の増加を働きかけながら、より望ましい「禁煙」に取り組む施設の増加を推進する。	・受動喫煙防止対策の推進を目指し、平成27年9月より敷地内禁煙・建物内禁煙に取り組む「受動喫煙防止宣言施設」の登録制度を宮城県・全国健康保険協会宮城支部と共同で実施した。 ・令和元年度登録施設数 1,191施設（うち所在地が仙台市 642施設）	○	健康福祉局	健康政策課
(2) 事業所に向け受動喫煙防止対策ガイドラインの啓発を行う	①受動喫煙に関する取り組みを行う企業への支援	受動喫煙防止対策ガイドラインの周知や、企業が取り組むべき方策について支援する。	・取り組みなし	○	宮城野区	家庭健康課
	②受動喫煙防止に配慮した公園の環境整備	快適で健康的な公園を目指し、看板等による喫煙マナーの向上や、受動喫煙防止の広報・啓発を行う。	・花京院緑地に受動喫煙防止啓発の看板を設置	○	青葉区	公園課

【重点分野6】日頃から一人ひとりが取り組む感染症予防

【1】定期予防接種の接種勧奨

健康づくりの手法	取組事業	事業概要（令和2年度）	事業実施状況（令和2年度）	環境改善・整備	担当局・区	担当課
(1) 接種対象者に対する積極的な接種勧奨	①集団接種事業(BCG)	市政だよりやホームページで周知し、通年で保健福祉センター等を会場に実施。	・BCG [8,415]*[接種件数 R2.4-3月分] ・会場・日程について市政だよりと仙台市ホームページにて周知		健康福祉局	健康安全課
	②個別接種事業	母子手帳交付時に周知し、新生児訪問や4か月育児教室等の機会に接種勧奨する。 学齢期の対象者には、保護者あてにお知らせのチラシを配付する。 特例対象者の予防接種は、個別通知をする。	・DPT-IPV [32,001]DPT [1]DT [7,661]IPV [4] 日本脳炎 [39,092]MR 1期 [7,937]MR2期 [8,467] ヒブ [32,257]小児の肺炎球菌 [31,451]HPV [1,816]水痘 [16,070] B型肝炎 [23,361]高齢者インフル [171,694] 風しん5期（成人男性） [1,763]（H31.3.15 開始） * [延接種数 R2.4-3月分] ・母子手帳交付時、母子手帳別冊(乳幼児編)個別送付時、新生児訪問や4か月育児教室、1歳半健診時等に接種勧奨実施 ・小学3年生あて小学校を通して日本脳炎第2期お知らせを配付。 ・小学6年生あて小学校を通して二種混合お知らせを配付 ・18歳あて日本脳炎第2期特例接種個別通知実施(R02.7：約9,400通)		健康福祉局	健康安全課
	③高齢者肺炎球菌予防接種費用助成事業	接種対象者あて個別通知をする。 市政だよりやホームページで周知する。	・高齢者肺炎球菌定期接種件数 [8,113] * [接種者数 R2.4-3月分] ・65歳あて高齢者肺炎球菌個別通知実施(R02.6：約12,300通) ・市政だよりお知らせ掲載(10月号)		健康福祉局	健康安全課
	④おたふくかぜ予防接種費用助成事業	1歳6か月健診のお知らせ送付時に接種対象者あてお知らせのチラシを配付する。	・おたふくかぜワクチン [8,043] * [接種者数 R2.4-3月分] ・1歳6か月健診のお知らせ送付時に接種勧奨のお知らせを配付。		健康福祉局	健康安全課
	⑤予防接種登録医療機関研修会	予防接種登録医療機関あて仙台市予防接種事業の円滑な実施に向けた研修会を開催する。	・予防接種登録医療機関研修会については、新型コロナウイルス感染症の影響により、仙台市医師会と協議のうえ中止とし、令和2年10月より定期接種化されたロタウイルス感染症定期予防接種登録医療機関に対して説明資料を作成し、送付することで代替とした。		健康福祉局	健康安全課

【2】感染症に関する正しい知識の普及・啓発

健康づくりの手法	取組事業	事業概要（令和2年度）	事業実施状況（令和2年度）	環境改善・整備	担当局・区	担当課
(1) 感染症に関する正しい知識の普及啓発	①感染症流行期に合わせた啓発	社会福祉施設・学校・保育所等へ啓発資料の送付や来庁者及び職員等への啓発・注意喚起	・インフルエンザ予防啓発ポスター （市内医療機関、保育施設、幼稚園、学校等約1,820部）配布	○	健康福祉局	感染症対策室
			・庁舎内に感染症関連のポスターを掲示	○	青葉区 泉区	管理課
			・来庁者及び職員へ咳エチケットマスク配布、職員に対して嘔吐物処理研修、庁舎内に感染症関連ポスター掲示、情報コーナーでチラシ配布を予定していたが実施せず。 ・庁舎入口に手指消毒用ジェル配置	○	若林区	管理課
			・電子媒体・市政だより等による啓発	○	健康福祉局	感染症対策室
	②手洗いスタンドの貸し出し	手洗いスタンドの貸し出し	・手洗い評価スタンドの貸出 41施設(延70台)	○	青葉区 宮城野区 若林区 太白区	管理課
・管内社福施設等(216施設)に貸出案内文書を送付、貸出対応は衛生課に依頼			○	泉区	管理課	

②結核予防週間に合わせた結核の予防啓発事業	市政だより、ホームページ等による啓発 区役所におけるパネル展示やパンフレット、ポスター等の啓発 資材の配布	・ホームページに啓発記事を掲載 ・市民センター、公所等へパンフレット、ポスター等を配布	○	健康福祉局	健康安全課	
		・庁舎に懸垂幕を掲出	○	青葉区 太白区 泉区	管理課	
		・新型コロナウイルス感染症対策による業務繁忙のため実施できず	○	宮城野区	管理課	
		・市政だよりによる啓発記事を掲載	○	若林区 泉区	管理課	
		・庁内放送を実施	○	若林区 太白区	管理課	
		・庁舎内におけるパネル展 ・庁舎内及び関係課におけるパンフレット設置・配布、ポスター掲示	○	若林区 太白区 泉区	管理課	
		・民生委員児童委員協議会における啓発：3回実施 区（9/7）地区（9/11,10/12）	○	太白区	管理課	
		・庁内放送及び案内ディスプレイ放映を実施	○	泉区	管理課	
		高齢者の結核リスクについて、高齢者および介護従事者等への 正しい知識の提供	・介護事業支援課の高齢者施設向けホームページに掲載 （新型コロナウイルス感染症流行のため研修中止）	○	健康福祉局	健康安全課
		職員向けの情報提供	・新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により実施なし	○	青葉区 宮城野区	管理課
		・庁内放送を実施	○	若林区 太白区	管理課	
		・庁内放送及び案内ディスプレイ放映を実施 ・庁舎内トイレにミニチラシを掲示	○	泉区	管理課	
		・庁内LAN掲示板に啓発記事を掲載 ・庁内関係部署へパンフレット、ポスター等の配布	○	健康福祉局	健康安全課	
③結核予防週間以外(通年) で実施する結核の予防啓発 事業	職員、医療従事者等への情報提供	・実績なし（新型コロナウイルス感染症流行のため研修会中止）	○	健康福祉局	健康安全課	
	公衆衛生関係学生実習における情報提供	・新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により実施なし	○	青葉区	管理課	
		・新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により実施なし	○	宮城野区 泉区	管理課	
		・保健所実習看護・福祉系学生、臨床医師研修で結核についての講話を実施	○	若林区 太白区	管理課	
		・結核診査部会に参加した医学部学生、研究生に対し、結核についての講話を実施	○	健康福祉局	健康安全課	
	高齢者の結核リスクについて、高齢者および介護従事者等への 正しい知識の提供	・新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により実施なし	○	青葉区	管理課	
		・新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により実施なし	○	宮城野区 太白区	管理課	
		・介護事業支援課の高齢者施設向けホームページに掲載 （新型コロナウイルス感染症流行のため研修中止）	○	健康福祉局	健康安全課	
	結核リスクについて、日本語学校等留学生及び技能実習生に対 する正しい知識の提供	・新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により実施なし	○	青葉区	管理課	
	被災世帯への情報提供	・ヘルスアップ通信掲載予定だったが1回のみ配布だったため掲載せず		若林区	管理課	

④HIV検査普及週間および世界エイズデーに合わせた予防啓発	市政だよりやホームページ、横断幕等による情報発信や、各所でのパネル展示を実施し啓発する。	・庁舎内にポスター掲示、パンフレット・啓発物の配布等	○	青葉区 若林区 太白区	管理課
		・新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により実施なし	○	宮城野区 泉区	管理課
		・市政だよりに啓発記事を掲載	○	若林区 太白区	管理課
		・庁内放送	○	太白区 若林区	管理課
		・ホームページでの情報提供	○	太白区	管理課
		・市政だより掲載 ・ホームページでの情報提供 ・区役所におけるパネル展示（11月） ・NPOと協働し「仙台HIVネット」へのHIV検査広報、ツイッターによる広報、MSM向けスマートフォンアプリへの広告掲出、商業施設への啓発資材配布 ・ZELコミュニティー紙への検査情報掲載 ・梅毒の増加について啓発チラシを区役所等で配布	○	健康福祉局	感染症対策室
⑤青少年に向けたエイズ・性感染症予防啓発	成人式での啓発	・新型コロナウイルス感染症感染対策のため、成人式における啓発は実施なし。 ・市内中学校・高校・大学・短大・各種専門学校へのポスター・チラシ配布（11月） ・学校等と連携した健康教育の実施（3施設）	○	健康福祉局	感染症対策室
		・新型コロナ感染症対応のため、イベント等が中止となったため実施なし	○	青葉区	管理課
	高校、専門学校、大学の文化祭や大学生検診の際にブース等を設置し、啓発のためのポスター掲示、パンフレットやティッシュの配布を実施	・新型コロナ感染症対応のため、イベント等が中止となったため実施なし	○	若林区 太白区	管理課
		・庁舎内でパネル展示及び啓発資料の配布	○	泉区	管理課
	施設入所中の中学生へのエイズ・性感染症健康教育の実施	・思春期保健・エイズ性感染症健康教育：①中学生12名、先生6名参加	○	太白区	管理課
	高校生へのエイズ予防教育の実施	・新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により実施なし	○	宮城野区 若林区 太白区	管理課
	専門学校生へのエイズ・性感染症健康教育の実施	・新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により実施なし	○	青葉区	管理課
	公衆衛生関係学生実習における情報提供	・新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により実施なし	○	青葉区	管理課
		・新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により実施なし	○	宮城野区 泉区	管理課
		・保健所実習看護・福祉系学生、臨床医師研修におけるエイズ予防教育	○	若林区	管理課
⑥週報・月報の公表	市民向けに区役所内に情報を掲示したり、医療機関への情報提供	・新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により実施なし	○	青葉区	管理課
⑦健康危機管理研修	職員を対象にした研修の実施	・新型コロナ感染症対策の講義 1回 15名参加 ・新型コロナ感染症対応時の防護服着脱訓練等 2回 計20名参加	○	青葉区	管理課
		・新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により実施なし	○	宮城野区 泉区	管理課
		・新型インフルエンザ実動班訓練	○	若林区	管理課
		・健康危機管理研修会の開催 ・災害時の保健活動における感染症対応について（企画会議、研修：28名） ・母子保健係幼児健診担当向け 吐物処理実習（1回16名参加）	○	太白区	管理課
		・新型コロナウイルス感染症対応の為中止	○	健康福祉局	感染症対策室
⑧感染症予防に関する健康教育	学校、社会福祉施設等(集団感染が発生しやすい施設)対象の感染症講習会の開催	・訪問看護ステーション職員に対し結核を主とした感染症に関する講話 1回 10名参加	○	青葉区	管理課
		・新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により実施なし	○	宮城野区 太白区	管理課
		・感染性胃腸炎予防啓発文書を社福施設等（216施設）に送付	○	泉区	管理課

(2)	感染症に関わる検査の実施	①HIV検査相談事業	各保健所及びその他の会場にて、異なる曜日や時間帯を設定して匿名・無料のHIV検査・相談を実施する。その日のうちに結果がわかる即日検査を月3回開催する。	・新型コロナウイルス感染症対応のため、一部検査を休止したが、ニーズの高い夜間・休日の即日検査は感染対策に留意のうえ、継続して実施した。 ・HIV検査件数510件(うち陽性1件)	健康福祉局	感染症対策室
		②性器クラミジア検査事業	青葉区役所の夜間HIV検査会場にて、同時に開催する。	・新型コロナウイルス感染症対応のため、4月のみ実施し5月以降は休止している。 電話相談を受けた場合には、必要に応じて医療機関受診を勧奨した。 ・クラミジア検査件数10件(うち陽性2件)	健康福祉局	感染症対策室
		③梅毒検査事業	各区及びその他の会場において実施する、HIV検査会場にて同時に開催する。	・新型コロナウイルス感染症対応のため、一部検査を休止したが、ニーズの高い夜間・休日の即日検査は感染対策に留意のうえ、継続して実施した。 ・梅毒検査件数509件(うち陽性7件)	健康福祉局	感染症対策室
		④肝炎ウイルス検査	これまで検査をしたことがない人を対象にした無料肝炎ウイルス検査を実施する。	・B型肝炎ウイルス検査件数3,995件(うち陽性20件) ・C型肝炎ウイルス検査件数4,026件(うち陽性12件)	健康福祉局	感染症対策室
		⑤肝炎ウイルス検査陽性者フォローアップ事業	肝炎検査の結果陽性だった者に対し、フォローアップアンケートを実施し医療機関受診状況を把握する。必要時、未受診者への受診勧奨を行う。	・調査対象人数147人(うちR2新規対象者36人) アンケート返信数104件	健康福祉局	感染症対策室
		⑥風しん抗体検査助成事業	風しん抗体検査の費用助成	・風しん抗体検査数(妊娠を希望する女性等)：1,284人 ・風しん追加的対策検査数(成人男性)(H31.3.15開始)：10,611人	健康福祉局	感染症対策室
		⑦HIV検査相談を受けやすい環境整備	検査を受けた方からのアンケート結果を参考に、より安心して相談・検査を受けられるような環境を整備する。	・新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により実施なし ・新型コロナウイルス感染症対策による業務繁忙のため、実施できず ・感染対策の観点から、検査受検者へのアンケートは省略したが、複数の担当者で確認・検討のうえプライバシーの保護と、感染対策に留意し検査会場の環境整備を行った。	青葉区 宮城野区 健康福祉局	管理課 管理課 感染症対策室

2. 仙台市保健所支所の取り組み

青葉区保健福祉センター（令和2年度 事業報告）

1. 令和2年度事業の取り組みの概要

重点分野1 未来の健康をつくる生活習慣病予防

- ・運動にあまり関心のない層の活動量を増やすことを目的に、四ツ谷用水の街めぐりの要素を取り入れたウォーキング講座を、市民センターと共催で実施した。
- ・健康教育の依頼のあった団体に対し、地域の健診結果から見える健康課題等を盛り込んだ内容で食生活と運動の講座を実施した。
- ・管内専門学校の教員向けにアンケートを実施し、教員が感じている生徒の健康課題を把握した。

重点分野2 気づく、つながる、支える心の健康づくり

- ・管内専門学校（26校）へ年2回配布しているニュースレターに、コロナ禍におけるストレスの対処方法やゲートキーパーに関する記事を掲載し、メンタルヘルスの普及啓発を図った。
- ・自殺対策強化月間においては、広瀬図書館と協働し、広瀬図書館内にこころの健康に関する図書の特設ブースを設置した。
- ・子育て支援ネットワーク会議（書面開催）にて、支援者向けのコロナ禍におけるセルフケアに関する資料を送付した。

重点分野3 健康な心と身体を支える食生活

- ・食育活動団体や地域施設を対象に、幼児の肥満予防やおやつを取り方について情報提供を実施した。
- ・子育て世代が家族皆で健康的な食習慣を身につけられる機会とするため、未就学児のいる子育て世代を対象に、市民協働で作成した「常備菜レシピ集」を活用した講座を市民センターと共催で実施した。
- ・介護予防自主グループスキルアップ研修にて、フレイル予防をテーマとした講話を実施した。

重点分野4 生きる力を支える歯と口の健康づくり

- ・フッ化物洗口を開始した施設に対して支援を行い、管内全ての施設に歯科健康診査結果集約事業を実施した。
- ・幼児期や学齢期の歯と口の健康づくり推進のため、小規模保育施設等や小・中学校へ啓発資料を送付し、養護教諭等との懇談会で学齢期の歯と口の健康づくりマニュアルの周知や情報交換を行った。

重点分野5 大切な人の健康を守るたばこ対策の推進

- ・母子健康手帳交付時に受動喫煙防止のチラシを配布し啓発を行った。配布したチラシの裏面には禁煙相談の案内も掲載し、禁煙支援の周知を行った。
- ・母子保健事業やがん検診でたばこの健康影響について普及啓発した。

重点分野6 日頃から一人ひとりが取り組む感染症予防

- ・新型コロナウイルス感染症対応業務において、陽性者やその家族、勤務先等の施設に対し、感染予防の方法や日頃の感染予防の重要性について個別に啓発を実施した。
- ・各分野の啓発に併せて、新型コロナウイルス感染症と感染予防に関する啓発を行った。

市民の健康づくりを支える社会環境の改善・整備

- ・養護教諭との懇談会を開催し、コロナ禍における子どもへの影響等を情報共有した。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、地域住民の集まりの場が中止となり、健康教育に出向く機会が減少した。コロナ禍においても実施している既存事業や会議等の場を活用し、啓発機会を確保すると共に、地域のキーパーソンへのヒヤリングを行う等、今できることを工夫しながら活動した。
- ・保健福祉センター内の多職種による、地区保健活動を推進する体制づくりを行った。

2. 今後の取り組みに向けた課題

- ・地域の健康課題を、地域住民や関係機関と共有し、課題解決に向けた方法を具体的に検討する。

宮城野区保健福祉センター（令和2年度 事業報告）

1. 令和2年度事業の取り組みの概要

重点分野1 未来の健康をつくる生活習慣病予防

- ・学齢期の健康づくりとして、学校保健・地域保健の連携の土台作りを目的に懇談会を開催した。また、小学校3校で健康教育を実施し、児童や保護者に健康づくりを推進した。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、区民への啓発の機会が減少したため、区中央市民センターの場を活用し、パネル展示やワークショップを実施した。

重点分野2 気づく、つながる、支える心の健康づくり

- ・被災の浸水地域に対して訪問を重点的に行い、健康支援や介護予防に努めた。浸水地域は高齢化率も高く被災被害が大きい地域であり、フォローアップが必要な地域である。問題が顕在化する前に定期的に訪問し、予防的な介入を行っている。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止による外出自粛等活動量の低下や気分の落ち込み等の影響を考慮し、健康づくりに関する情報紙「からだおmoi」を作成し復興公営住宅等の住民に対し全戸配布を行った。また、活動休止が長期化している地域等に個別訪問にて、生活状況の確認・情報提供を行い、地域活動の活動再開支援につなげた。
- ・コロナ禍による不安定な社会情勢が長期化していることを受け、アンガーマネジメントや気分転換の方法等取り組みやすいこころの健康のセルフケアについて啓発した。

重点分野3 健康な心と身体を支える食生活

- ・専門学校との連携により、学生や先生を対象に電子媒体を活用し、健康的な食生活や朝食をきちんと摂る重要性等、これからの健康づくりを見据えた食生活の啓発を実施した。

重点分野4 生きる力を支える歯と口の健康づくり

- ・特定健診結果よりメタボリックシンドロームと口腔機能低下との関連を「見える化」し、関係各所および多職種と情報共有することにより、歯と口の健康づくりを通して、生活習慣の見直しを図るとともに、全身の健康づくりを推進した。

重点分野5 大切な人の健康を守るたばこ対策の推進

- ・出産後の再喫煙防止・乳幼児期の受動喫煙防止のため、支援者を対象にした研修会を実施した。
- ・母子手帳交付時に喫煙者有の世帯に対し、禁煙相談を周知し禁煙の動機付けを行った。

重点分野6 日頃から一人ひとりが取り組む感染症予防

- ・新型コロナウイルス感染症について、市民や事業所から多くの相談が寄せられ、感染対策について助言・指導を行った。

市民の健康づくりを支える社会環境の改善・整備

- ・保育所、児童館、小学校、市民センター、専門学校、地域包括支援センターなど関係機関との協働や啓発の協力を仰ぎ、健康づくりに関心を持つ機関を増やした。

2. 今後の取り組みに向けた課題

- ・新型コロナウイルス感染症の感染予防の啓発、及び健康二次被害（基礎疾患の悪化やメンタルヘルス・フレイル等のリスクの増大）の予防を視野に入れた事業展開が必要である。

若林区保健福祉センター（令和2年度 事業報告）

1. 令和2年度事業の取り組みの概要

平成30年度明らかにした当区の当区健康課題に基づき、課題解決のための指標をライフステージ毎に示し平成31年度（令和元年度）の若林区健康づくり区民会議の場で啓発した。また、健康課題の大きい六郷地区の健康づくりに関して令和2年度の取り組みに向け具体的な意見交換を行った。しかし令和2年度は新型コロナウイルス感染予防のため各事業が実施できない状況が続いた。

重点分野1 未来の健康をつくる生活習慣病予防

- ・ 高血圧予防、減塩をテーマとした啓発
健康増進普及月間におけるパネル展示、リーフレット配布（延354部）
商業施設でのパネル展示、リーフレット配布（延426部） 健康教育（4回 353人）
定期的な健康講話（5回 40人）と健康相談（10回 7人）
- ・ 介護予防運動サポーター養成講座（5回 実25名、延102人）
- ・ 介護予防運動サポータースキルアップ研修（4回 実40人）

重点分野2 気づく、つながる、支える心の健康づくり

- ・ 心の健康相談（24回 49人）
- ・ 自殺予防週間・自殺対策強化月間（9月・3月）におけるポスター掲示、パネル展示、復興公営住宅入居者等へのヘルスアップ通信の配布、区内短期大学・専門学校に心の啓発媒体を配布（200部）
- ・ 地区民生委員児童委員協議会において、自殺対策強化月間に合わせてゲートキーパーについて啓発（9回、延190人）
- ・ 復興公営住宅・防災集団移転地域サロン（49回 621人）
- ・ 支援者のスキルアップのためのアルコール関連問題事例検討会（4回 延52人）
- ・ 被災者こころのケア個別支援件数（延1047件 ※障害高齢課分）（延275件 家庭健康課分）

重点分野3 健康な心と身体を支える食生活

- ・ 幼児健診において、肥満度15%以上の幼児を対象に個別栄養指導を強化し、面接ができない場合は、リーフレットや電話で指導を実施（面接実施率：1歳6か月児健康診査84%、3歳児健康診査56%）
- ・ 子育て支援施設における歯科保健・食育推進事業（5施設）

重点分野4 生きる力を支える歯と口の健康づくり

- ・ フッ化物洗口導入支援事業（25施設）・子育て支援施設における歯科保健・食育推進事業（5施設）

重点分野5 大切な人の健康を守るたばこ対策の推進

- ・ 防煙教育：小学校：2校 中学校：1校（延263人） ・ 個別禁煙相談（延9人）

重点分野6 日頃から一人ひとりが取り組む感染症予防

- ・ 市民や関係機関から寄せられた新型コロナウイルス感染症に関する相談に対応した。

市民の健康づくりを支える社会環境の改善・整備

※若林区の区民協働で取り組む健康づくり

- ・ 若林区健康づくり区民会議（2回） 推進部会（1回）
- ・ 健康づくりフェスティバル 実行委員会（2回）

2. 今後の取り組みに向けた課題

- ・ 継続して高血圧予防を区の共通の取り組みとして実施する。今後は、地域毎の健康実態の可視化を継続し、コロナ禍での実施を意識した、媒体や設定の工夫をしながら啓発の拡大を図る必要がある。
- ・ 健康課題の大きい六郷地区への効果的なアプローチ方法を、区全体でより良く連携しながら考えていく必要がある。

太白区保健福祉センター（令和2年度 事業報告）

1. 令和2年度事業の取り組みの概要

（○：太白区と秋保共通の取り組み）

重点分野1 未来の健康をつくる生活習慣病予防

- 特定・基礎健診のHbA1c要指導判定者に、相談案内や血糖値に関する資料送付により相談勧奨をおこなった結果、49名の相談があった。
- ・地域と共に育む子どもの健康づくりとして、児童館利用児童等を対象に栄養、歯科、防煙の健康教育を実施（6児童館計244名）。
- ・コロナ禍のなか受診控えが予想されたため、前年度の特定健診・基礎健診でHbA1c要指導判定者に健診勧奨と血糖値に関する資料を送付した。特定健診受診率は前年度より上昇した（秋保）。
- ・学校保健委員会や中学校区養護教諭部会と連携し、秋保地区の健康課題を情報提供した（秋保）。

重点分野2 気づく、つながる、支える心の健康づくり

- ・「こころの健康づくり講演会」は、コロナ禍における新たな手法としてWeb開催で実施（計30名）。
- ・「太白こころささえちゃん事業」は、理美容講習会中止のためメンタルヘルス関係の資料を送付。
- 商業施設や区役所等で、自殺予防週間、自殺対策強化月間期間中にパネル展示等による啓発を実施。
- 介護予防運動サポータースキルアップ研修、及びサポーター養成研修において、心の健康講話を実施（8回83名）。
- コロナ禍での地域の見守り体制強化のため、太白区高齢者・障害者地域会議において、地域で支えあう具体的な方法等に関する意見交換会を実施（書面開催：27名）。
- ・復興公営住宅で、被災者の孤立防止・機能低下防止のための運動教室やサロン活動を継続実施。

重点分野3 健康な心と身体を支える食生活

- ・食育推進事業の標語「モーベジ！」をPRするため、動画（離乳食レシピ動画2本、幼児向け食育動画2本、地域と連携した食育動画4本）を作成し、各種事業、YouTube、区HPで啓発した。また、モーベジガイド2,316部、モーベジレシピ496部を幼児健診や情報コーナー等で配布（HPでも公開）。
- ・幼児食育連携事業として食育プログラムを作成し、幼稚園児を対象に実施した（1施設255名）。
- ・介護予防事業や老人クラブ等で、コロナ禍での健康づくりや食生活についての啓発を実施（5回92名）（秋保）。

重点分野4 生きる力を支える歯と口の健康づくり

- ・幼児健診等において、かかりつけ歯科医を持つことやフッ化物歯面塗布に関する啓発を行った効果もあり、フッ化物歯面塗布を受けたことのある幼児は、前年度の幼児健診時より増加した。
- ・コロナ禍で管内の障害児施設（3施設）の歯科検診ができなかったが、1施設で職員研修会を実施。
- ・幼児健診等の各種事業を通じ、歯と口の健康づくりや望ましい食習慣について啓発を実施（秋保）。

重点分野5 大切な人の健康を守るたばこ対策の推進

- ・地域と共に育む子どもの健康づくり事業や母子保健事業を通じて、妊婦、乳幼児の保護者、児童館利用児童等を対象に防煙教育を実施。
- ・個別禁煙相談として、月1回の相談会を実施（相談者6名）。
- 区役所等で、禁煙週間にあわせてパネル展示等による啓発を実施。

重点分野6 日頃から一人ひとりが取り組む感染症予防

- 市民からの相談や施設調査等の際に、新型コロナウイルス感染症に関する感染予防策の啓発とともに、新しい生活様式の実践についての働きかけを実施。
- 結核予防週間期間中は区役所等でのポスター掲示や、社協サロン会、民生委員児童委員協議会などでチラシを配布し、結核の予防について啓発を実施。

市民の健康づくりを支える社会環境の改善・整備

- ・生活習慣病予防事業として、階段利用を促す標語を職員から募集し、区役所東側・西側階段部分に標語を貼付することにより階段利用の促進を図った。
- ・高齢者、障害者を問わず地域からの相談を包括的に受け止める場として、「太白地域丸ごと相談事業」を2地区で実施（延4回、相談者22名）。
- 暮らしやすい地域づくりのため、関係機関と地域の課題共有し、解決に向けて協力体制を強化した。

2. 今後の取り組みに向けた課題

- 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により外出機会が減少し、運動不足やストレス等による健康状態の悪化が懸念されることから、新しい生活様式に合わせたアプローチや支援が必要となる。
- 肥満や糖尿病などの生活習慣病の予防には、若年期からの教育や取り組みが重要となる。

泉区保健福祉センター（令和2年度 事業報告）

1. 令和2年度事業の取り組みの概要

重点分野1 未来の健康をつくる生活習慣病予防

- ・新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、地域健康教育や事業所対象の研修会は中止せざるを得なかったが、関係団体に資料を送付したり、泉区の Facebook を活用するなど、こまめに健康情報を発信した。
- ・国民健康保険特定健診や基礎健診の結果、血糖値や血圧値が高く、受診の必要な区民に対し個別にアプローチし、生活習慣病の重症化予防を図った。

重点分野2 気づく、つながる、支える心の健康づくり

- ・3月の自殺対策強化月間において、若者や勤労者、無職・失業者等自殺リスクの高い層に焦点を当て、区内及び近隣の大学や各関係機関等と課題を共有するとともに、心の健康づくりに関する啓発リーフレットやグッズの配置の依頼を行った。
- ・復興公営住宅のある地域の福祉団体や自治組織と連絡会を開催し、被災者が孤立しないコミュニティ支援として関係機関と協働でチラシを作成し、個別に配布した。
- ・こころの健康相談を区役所で実施し、こころの健康についての本人及び家族からの相談、問題解決を支援した。
- ・精神障害者の家族教室を開催し、社会資源の活用方法及び家族での対応についての話し合いを支援した。

重点分野3 健康な心と身体を支える食生活

- ・児童館・児童センターや市民センターとの連携事業や各種関係機関向けの研修等は中止せざるを得ず、資料送付等により啓発を行った。
- ・高齢者の低栄養予防、食品の栄養成分表示の活用についてのパネルや媒体を作成し、庁内でのパネル展、市政だより、Facebook の活用により情報発信した。

重点分野4 生きる力を支える歯と口の健康づくり

- ・「☆せんだい☆でんたるノート」の活用を促し、乳幼児期からのフッ化物応用の啓発や、かかりつけ歯科医による歯と口の健康づくりを推進するとともに、保育所等でのフッ化物洗口を実施する働きかけを行った。
- ・コロナ禍において新しい生活様式を取り入れながらかかりつけ歯科医師医での定期健診やむし歯の予防処置を受けることの大切さについて啓発を図った。

重点分野5 大切な人の健康を守るたばこ対策の推進

- ・喫煙率の高い地域を選定し、児童館・児童センターと連携し、小学生を対象とした喫煙防止に係るリーフレットや啓発グッズを配布した。
- ・禁煙個別相談を実施し、禁煙に成功した方の禁煙のコツや禁煙による効果に関する意見を収集し、禁煙の啓発に活用した。

重点分野6 日頃から一人ひとりが取り組む感染症予防

- ・感染性胃腸炎やインフルエンザの流行期前に、社会福祉施設、幼稚園、保育所等の施設に対し、啓発資料を送付した。
- ・エイズ・HIV 感染症等の予防対策として、庁舎内でパネル展示や啓発資料の配布を行った。

市民の健康づくりを支える社会環境の改善・整備

- ・市民センターと地域の健康課題の共有を図り、主体的に健康講座に取り組めるよう支援した。
- ・地域包括支援センターとの連絡会において、特定健診の結果を活用し、地域の健康の特性の共有化を図った。

2. 今後の取り組みに向けた課題

- ・乳幼児期から青・壮年期世代までの健康づくり対策として、地区特性を踏まえ、子育て支援機関や教育機関、事業所等と連携した取り組みが必要である。
- ・郊外団地の高齢化対策として、健康づくりの視点を取り入れた地域づくりに向け、市民センターや地域包括支援センター等の関係部署との協働による取り組みが必要である。
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止による自粛生活が長引き、食生活の変化や活動量の低下、精神的ストレスを抱える区民が増える傾向にあり、心身の健康管理についての啓発が必要である。

3. 関係団体の取り組み（令和2年度実績）

（一社）仙台市医師会		
重点分野に関する活動・事業等の実施状況	【重点分野1】 未来の健康をつくる 生活習慣病予防	特定健診、基礎健診における問診や健診結果に応じ、生活習慣病等の「疾患」、「メタボリックシンドローム」及び「特定保健指導」に関する判定を行い、保健指導により個々の生活習慣改善の行動目標を設定(身体活動量・食事バランス)し、健康的な生活習慣を身に付けられるよう、登録医療機関ならびに宮城総合支所（集団）において指導した。 生活習慣病予防を図るべく、市民向け広報誌「てとてとて」「健康だより」を発行した。また、ケーブルテレビを利用した医療情報番組「家庭の医学」を通じて啓発活動を行った。 （市民を対象にした「市民医学講座」は、新型コロナウイルスの感染状況により開催を見合わせた）
	【重点分野2】 気付き、つながる、 支える心の健康づくり	かかりつけ医の適切なうつ病診療の知識・診断の向上及び、精神科専門医との連携などについて研修会を開催し、うつ病患者の早期発見・早期治療の促進や、自殺予防対策に努めた。同様に病院医療従事者向けの研修会も開催した。 産婦健康診査については、登録医療機関において産婦のこころとからだの健康状態をチェックし、心身の不調の早期発見に努め、必要な支援につなげた。
	【重点分野3】 健康な心と 身体を支える食生活	（重点分野3・4合わせた形での取り組み） 学童検診（検尿、腎臓病、糖尿病、生活習慣病、貧血、心臓病、脊柱側弯、運動器等）を介して児童・生徒および家族に対し、校医および専門医による食生活・生活改善指導を実施した。 また、乳児健診（2か月、4～5か月、8～9か月）、1歳6か月児健診、3歳児健診において乳幼児の健康的な成長を促すための栄養指導を実施した。乳児からのむし歯予防として8～9か月乳児健診を入り口にした、3歳児カリエスフリー85プロジェクトを歯科医師会と共に推進した。
	【重点分野4】 生きる力を支える 歯と口の健康づくり	
	【重点分野5】 大切な人の健康を守る たばこ対策の推進	禁煙日医宣言と禁煙キャンペーン事業を推進し、世界禁煙デー・宮城フォーラムに参画。禁煙タペストリーを制作・展示し、職場、妊婦、子どもに対する喫煙防止を呼びかけた。NPO法人禁煙みやぎの禁煙活動に対して積極的に支援した。
	【重点分野6】 日頃から一人ひとりが 取り組む感染症予防	各種予防接種の積極的勧奨と、インフルエンザ予防対策ポスターを市内の医療機関へ送付し、こまめな手洗いや咳エチケットの予防対策を啓発した。 各種予防接種の積極的勧奨と、こまめな手洗いや咳エチケットの基本的な予防対策を、日常診療の中で引き続き啓発した。 新型コロナウイルス感染症に関し、仙台市医師会として最新の知見を共有。関連情報を新型コロナウイルス感染症ニュースで配信し、会員を通じて市民にも有益な情報を提供する。また、ホームページにも市民向け専用ページを設けて、引き続き感染予防等を啓発した。
健康づくりを支える 社会環境の改善・整備		
今後の取り組みに向けた 課題等		

(公社) 仙台歯科医師会

<p>【重点分野1】 未来の健康をつくる 生活習慣病予防</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・糖尿病・骨粗鬆症・睡眠時無呼吸症候群と歯科などに関する医科歯科連携事業の実施 ・基礎疾患・生活習慣病と歯周病の関連性の啓発と予防・早期発見につながる歯科保健活動 ・特定健診・保健指導の歯科的項目の追加に対応した体制の整備 ・がん患者等の周術期口腔機能管理に関する医科歯科連携の充実 ・口腔がんの早期発見のための啓発講習会の実施
<p>【重点分野2】 気付き、つながる、 支える心の健康づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童虐待防止への歯科的対応 ・「生きる力を育む教育」を通じた「いじめ問題」に対する歯科的協力 ・在宅医療等推進のための多職種連携事業への参画 ・新オレンジプランにおける歯科専門職としての連携 ・認知症対応力向上に資する歯科専門職の育成 ・障害者地域支援ネットワーク構築事業への参画（障害のある人もない人も暮らしやすい仙台を目指す条例）
<p>【重点分野3】 健康な心と 身体を支える食生活</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・乳児期から学齢期においては、食育推進が歯と口の機能の育成に大きくかかわることから、3歳児カリエスフリー85プロジェクトの保健指導・学校での食育推進事業に歯科として積極的に関与する。 ・青年期・壮年期では仙台市成人歯科健診事業における保健指導で間食や甘味食品を含めた正しい食事に関する情報提供を行う。 ・高齢期に関しては、フレイルの出発点ともいわれている「オーラルフレイル」の予防という観点から食事の重要性を考えるべきである。それを踏まえ以下の事業を実施した。 ・多職種連携という観点から当該会議での情報発信 ・地域包括支援センター主催の市民啓発イベントでの講話実施
<p>【重点分野4】 生きる力を支える 歯と口の健康づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・口腔癌の早期発見のための啓発講習会の実施 ・がん患者等の周術期口腔機能管理に関する医科歯科連携 ・市委託事業 3歳児歯科健康診査・2歳6か月歯科健康診査 ・保育所定期歯科健康診査及び歯科健康教育 ・幼稚園における歯科保健活動（園でのフッ化物洗口のさらなる推進に向けた取り組み） ・幼稚園・保育所職員対象研修会 ・小学校就学時健康診断・定期健康診断 ・学童期のう蝕予防対策の強化（小中学校におけるフッ化物洗口の積極的導入と普及に向けた計画検討） ・フッ化物局所応用の推進～フッ化物応用実施医療機関名簿作成等 ・妊婦歯科健診事業の推進 ・3歳児カリエスフリー85プロジェクトからリニューアルする仙台市フッ化物歯面塗布助成事業推進に関する環境の整備（実施要項等の検討） ・各ライフステージにおける歯科口腔保健事業のシームレスな連携の実現 ・宮城・仙台口腔保健センターにて「歯の学校」「歯の大学」（宮歯と共催）を開催 ・宮城・仙台口腔保健センターにて「県民公開講座」を開催 ・「歯と健康を守る仙台市民の会」を組織し、市民向け講演会を開催 ・歯と口の健康週間行事 市民のつどい ・仙台歯科医師会ホームページに市民歯科啓発サービスの開設 ・情報提供～小冊子「スマイル」の発行 ・各種歯科健診結果データの会報誌を通じての情報提供 ・「仙台デンタルファミリーボランティアの会」による老健施設での口腔ケア啓発活動 ・仙台市成人歯科健診（30・40・50・60・70歳歯周病検診・20歳のデンタルケア）実施 ・仙台市成人歯科健診（歯周病検診・20歳のデンタルケア）の受診率向上および実施年齢の充実化 ・仙台市成人歯科健診（歯周病検診・20歳のデンタルケア）の未受診者対策の検討 ・仙台市成人歯科健診（20歳のデンタルケア）の未受診者対策の実施 ・仙台市職員共済組合歯科検診（35・45・55・60歳実施） ・事業所歯科健診における産業保健推進センターとの連携強化 ・事業所歯科健診（宮城県歯科医師会の要請） ・障害者施設訪問歯科健診と関係者協議会 ・特別支援学校における摂食指導 ・障害者歯科相談医の研修会と相談医制度の拡充 ・口腔機能向上のための研修と口腔機能検査の実施 ・老健施設訪問歯科健診の実施 ・口腔ケアセンターの活用と運営の軌道化 ・口腔ケアセンター事業としての市民啓発講演会の実施 ・在宅療養高齢者の口腔機能向上に向けた医科歯科連携推進

重点分野に関する活動・事業等の実施状況

(公社) 仙台歯科医師会 ※前頁より続き

重点分野に関する活動・事業等の実施状況	<p>【重点分野4】 生きる力を支える 歯と口の健康づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・一般高齢者における介護予防事業（総合事業） ・在宅医療等推進のための多職種連携事業への参画 ・歯科医師の認知症対応力向上のための対策 ・地域包括ケアシステムにおける多職種連携の中での歯科専門職の役割の充実化 ・災害時における多職種連携のもと実施される口腔衛生活動体制の充実 ・食育推進への取り組み ・歯と口の健康月間における歯科保健活動（地区歯科医師との連携） ・仙台市PTAフェスティバルへの参加 ・認知症フェアなどの高齢者対象のイベントでの口腔機能低下・口腔ケアに関する啓発（仙台市薬剤師会との連携事業含む）
	<p>【重点分野5】 大切な人の健康を守る たばこ対策の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・タバコと歯周病との関係啓発 ・禁煙対策関連会議への出席
	<p>【重点分野6】 日頃から一人ひとりが 取り組む感染症予防</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・感染対策関連講習会への出席・情報収集 ・誤嚥性肺炎やインフルエンザ、COVID19等予防のための感染対策の啓発（歯科的視点から）
<p>健康づくりを支える 社会環境の改善・整備</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・仙台福祉プラザに「在宅地域歯科連携室」の設置と介護専門職・地域住民との連携環境の整備 	
<p>今後の取り組みに向けた 課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・第2期いきいき市民健康プラン後期計画を考慮した事業計画の見直し ・仙台歯科医師会ホームページによる市民向け歯科啓発サービスの充足 ・各ライフステージにおける歯科口腔保健事業のシームレスな連携の実現 ・「かかりつけ歯科医」機能の充実化に向けた市民啓発活動 ・子育て世代・学齢期の歯と口の健康支援推進に向けての取り組みの検討 ・3歳児カリエスフリープロジェクト（フッ化物歯面塗布助成事業）実施に向けての検討と仕組みの構築 ・幼稚園：保育所におけるフッ化物洗口実施率向上のための対策の検討 ・学童期のう蝕予防対策の強化（小中学校におけるフッ化物洗口の積極的導入と普及に向けた計画検討） ・妊婦歯科健診の推進 ・仙台市成人歯科健診（歯周病検診・20歳のデンタルケア）の受診率向上 ・仙台市成人歯科健診（歯周病検診・20歳のデンタルケア）の未受診者対策対象拡大の検討 ・特定健診・保健指導の歯科的項目の追加に対応した体制の整備 ・在宅医療等推進のための多職種連携事業への参画 ・新オレンジプランにおける歯科専門職としての連携 ・在宅地域歯科連携室を中心に据えた地域包括ケアシステムにおける歯科サービスの整備 ・障害者地域支援ネットワーク構築事業への参画 ・がん患者等の周術期口腔機能管理に関する医科歯科連携の充実 ・障害者（児）に対する歯科健康診査・保健指導導入の検討 ・コロナ禍のニューノーマルにおける歯科保健事業推進にかかる実施方法の検討 	

(公社) 仙台市薬剤師会

重点分野に関する活動・事業等の実施状況	【重点分野1】 未来の健康をつくる 生活習慣病予防	市民健診の受診勧奨：各薬局において市民健診の受診を勧める。また、電子申し込みのお手伝いをする。 各地域での薬と健康相談会は、新型コロナウイルス感染症拡大の為、実施出来なかったが、10月の薬と健康の週間に合わせる形で各薬局で健康講座や健康情報発信を行った（140薬局が参加）
	【重点分野2】 気付く、つながる、 支える心の健康づくり	新型コロナウイルス感染症拡大に伴う長期自粛生活、休校等により不安な状態の成人や子供が多く出ることを想定して、7月9月3月を呼びかけ強化月間として、各薬局にポスターの掲示とチラシの配布を行った。また、市立の各学校には、学校用のポスター、チラシを作成し、全校に配布した。 ただ、実施予定の地域での認知症対応等、地域の人々の中に入って行う事業は、実施出来なかった。
	【重点分野3】 健康な心と 身体を支える食生活	長期自粛による食生活の乱れ、運動不足などからフレイル・サルコペニア予防への啓発活動を実施した。 特に10月の薬と健康の週間に集中して、パンフ、チェック表などを用いて、各薬局で実施するとともに情報発信をした。 11月に開催した市民講座では、フレイル・サルコペニア予防に関する栄養と運動の講座を開いた。 仙台市薬剤師会が認定する「フレイル・サルコペニア予防対応薬剤師」の育成講座を年度末（3月）から6月にかけてリモートで実施した。（4月6月は予定）
	【重点分野4】 生きる力を支える 歯と口の健康づくり	感染症対策としての口腔ケアを、「薬と健康の週間」で取り組んだ薬局から発信した。また、学校では同じく感染症対策としての手洗い教室でも口腔ケアについては啓発をした。
	【重点分野5】 大切な人の健康を守る たばこ対策の推進	10月をキャンペーン月間として、「スカイブルーキャンペーン～きれいな空気を～」のキャッチコピーで、各薬局で啓発活動を実施した。 学校では薬物乱用防止教室に合わせて、防煙教室を実施した。 例年開催している「薬物乱用防止・防煙キャンペーン」は開催出来なかった。
	【重点分野6】 日頃から一人ひとりが 取り組む感染症予防	新型コロナウイルス感染症拡大が始まった2月から、各薬局に感染初期予防の啓発ポスターを掲示し、チラシを作成して啓発活動を継続的に実施した。 11月には東北医科薬科大学特任教授の賀来先生を講師に、感染症対策の市民講座を開催した。 学校ではポスターやチラシを作成し、配布した。また、学校保健委員を対象に「手洗い教室」を実施した。
健康づくりを支える 社会環境の改善・整備	団体としてではなく、地域に密着した薬局として、「薬と健康の週間」への取り組みでは健康情報を積極的に発信した。また、従来通り仙台市が実施している「見守りネットワーク」への参加、宮城県、仙台市が実施している「受動喫煙防止宣言施設」へ参加した。 新型コロナウイルス感染対策としては、手洗い、換気、ただししいマスクの着用、三密回避などの啓発とともに、自殺予防への呼びかけ、フレイル予防などの情報を薬局から発信した。	
今後の取り組みに向けた 課題等	従来行ってきたイベント型啓発、情報発信の事業は、今後見直し、各薬局から展開するネットワーク型を検討していかなければならない。	

全国健康保険協会宮城支部

重点分野に関する活動・事業等の実施状況	【重点分野1】 未来の健康をつくる 生活習慣病予防	<ul style="list-style-type: none"> ・被保険者に対して生活習慣病予防健診の受診勧奨を実施：受診率57.61%（令和3年1月末時点） ・被扶養者に対して特定健診の受診勧奨を実施：受診率23.43%（令和3年2月末時点） ・健診結果からリスク保有者に対し特定保健指導の実施：受診率19.5%（令和3年2月末時点） ・健診結果から重症領域の高血圧・高血糖未治療者に対し医療機関受診勧奨（重症化予防）を実施：受診率9.9%（令和3年2月末時点） ・上記の特定保健指導や医療機関受診勧奨の対象者に該当しない、生活習慣の要改善レベルにある者に対して、情報提供リーフレットを送付し生活習慣の改善を促した。 ・スポーツクラブ等と連携したヘルスアップ事業により運動習慣の推奨を図った。 ・宮城県が開発したウォーキングアプリと連携し、運動習慣の推奨や生活習慣の改善を図った。
	【重点分野2】 気付き、つながる、 支える心の健康づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・職場におけるメンタルヘルス対策支援を希望する事業所に対して、宮城産業保健総合支援センターが実施しているメンタルヘルスに関する無料相談を案内した。
	【重点分野3】 健康な心と 身体を支える食生活	<ul style="list-style-type: none"> ・特定保健指導による食生活改善にかかる指導実施。 ・当支部加入事業所の自主的な健康づくりを促進する「職場健康づくり宣言」事業にて、食生活の改善に取り組む事業所を拡大：502事業所（累計1304事業所）
	【重点分野4】 生きる力を支える 歯と口の健康づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・当支部広報誌にて宮城県歯科医師会所属の歯科医師より歯科関連の情報提供をいただき掲載：年6回発行 ・事業所向け「歯の健康に関する出前講座」は新型コロナ感染拡大防止のため実施に至らず。 ・当支部加入事業所の自主的な健康づくりを促進する「職場健康づくり宣言」事業にて、歯の健康に取り組む事業所を拡大：11事業所（累計52事業所）
	【重点分野5】 大切な人の健康を守る たばこ対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・宮城県、仙台市、協会けんぽ宮城支部の3者で「受動喫煙防止宣言登録施設」を運用し、受動喫煙防止を推進：17事業所、21施設（累計505事業所、843施設） ・当支部加入事業所の自主的な健康づくりを促進する「職場健康づくり宣言」事業にて、喫煙対策に取り組む事業所を拡大：589事業所（累計1246事業所）
	【重点分野6】 日頃から一人ひとりが 取り組む感染症予防	<ul style="list-style-type: none"> ・当支部加入事業所の自主的な健康づくりを促進する「職場健康づくり宣言」事業にて、感染症予防に取り組む事業所を拡大：246事業所（累計652事業所） ・ホームページ、メールマガジン等による定期的な広報を実施。
	健康づくりを支える 社会環境の改善・整備	<ul style="list-style-type: none"> ・当支部加入事業所の自主的な健康づくりを促進する「職場健康づくり宣言」事業の普及拡大、宣言事業所へのサポートにより、事業所における従業員の健康づくりに積極的に取り組む体制の整備を図った。 ・限りある医療資源を有効に活用するため、レセプトデータから時間外・休日・深夜の加算が算定されている者に対して、オーダーメイド型の通知を発送し適正受診を促した。
今後の取り組みに向けた 課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・当支部は約75万人（うち仙台市在住約26万人）の加入者を抱えており、一人ひとりに対する直接的なアプローチが困難であることから、「職場健康づくり宣言」事業を中心とした事業所との連携による取組み（コラボヘルス）を中心に引き続き推進していきたい。 	

	(公社) 仙台市食品衛生協会	(公社) 宮城県看護協会	
重点分野に関する活動・事業等の実施状況	【重点分野1】 未来の健康をつくる 生活習慣病予防	・飲食に起因する食中毒や感染症の予防に関する啓発	・市民対象に「まちの保健室」を開催し、健康相談や健康チェックによるセルフケアの推進・被災者健康支援「まちの保健室」3会場（若林区2ヶ所、宮城野区1ヶ所）15回 延べ207人 ・一般向け広報誌「kangoの広場」にて生活習慣病予防の啓発普及
	【重点分野2】 気付く、つながる、 支える心の健康づくり	・食品衛生に関するタイムリーな情報発信や相談	
	【重点分野3】 健康な心と 身体を支える食生活		・一般向け広報誌「kangoの広場」にて減塩の啓発普及
	【重点分野4】 生きる力を支える 歯と口の健康づくり		
	【重点分野5】 大切な人の健康を守る たばこ対策の推進	・営業施設に対する防煙・禁煙・分煙の情報提供	・受動喫煙防止施設登録（施設内・敷地内禁煙） ・禁煙フォーラムへの参加 ・禁煙ポスター館内掲示による啓発普及
	【重点分野6】 日頃から一人ひとりが 取り組む感染症予防	・検便および食品検査に関する啓発	・一般向け広報誌にて感染症予防策の啓発普及 ・仙台市が設置した新型コロナウイルス感染症コールセンターにおける相談対応 ・障害福祉施設、保育所からの新型コロナウイルス感染症に関する相談への対応及び講師派遣
健康づくりを支える 社会環境の改善・整備			
今後の取り組みに向けた 課題等	・食品衛生指導員の活動の輪を広げる取り組み	・直接的に市民に働きかける機会が少なく、コロナ禍における参集も難しいため、啓発普及の媒体が紙面に限定されてしまっている。 紙面をとおしての啓発普及においても、わかりやすく、取り組みやすい内容等の掲載に、今後も努めてゆきたい。 ・新型コロナウイルス感染症に関する講師派遣については、講師の日程確保が困難なこともあり、派遣までに時間を要する場合もあり、その間は電話相談等で対応している。	

	宮城労働局	(公財)宮城県対がん協会	
重点分野に関する活動・事業等の実施状況	【重点分野1】 未来の健康をつくる 生活習慣病予防	・個々の事業場に対する健康診断実施等の指導に併せて宮城産業保健総合支援センター等の利用勧奨等を行うとともに、併せて集団指導の機会や広報等により二次健康診断等給付制度の周知等に取り組んだ。	・昨年同様に職員全員に定期健診を受診する機会を用意しました。またALP、LDの測定方法の変更を书面化し、手引きと合わせて健診結果が分かりやすいようにしました。
	【重点分野2】 気付く、つながる、 支える心の健康づくり	・個々の事業場に対してストレスチェックの実施をはじめとするメンタルヘルス対策推進を指導するとともに、必要に応じて宮城産業保健総合支援センター等の利用勧奨等を行い、また、これら機関と連携した集団指導等を行った。	・職員のメンタルヘルス相談窓口の設置と、メンタルヘルス健診を行っています。
	【重点分野3】 健康な心と 身体を支える食生活	・宮城産業保健総合支援センター等の利用勧奨を行うなどして健康診断結果に応じた保健指導等の実施を促進した。	・塩分を控えたバランスの良い食事と、コロナ太りを予防するためにも適切な運動をするよう周知しました。
	【重点分野4】 生きる力を支える 歯と口の健康づくり	・個々の事業場に対する法定の歯科健診の実施等を指導した。	
	【重点分野5】 大切な人の健康を守る たばこ対策の推進	・受動喫煙防止対策助成金の支給等を通じて受動喫煙対策を推進した。	・すでに職場内禁煙とし、職員には、勤務中禁煙として厳しく指導しています。
	【重点分野6】 日頃から一人ひとりが 取り組む感染症予防	・新型コロナウイルス感染拡大を受けて、あらゆる機会を捉えた職場における感染拡大防止対策の確認や要請等を行った。	・インフルエンザの予防接種やアルコールでの手指消毒、定期的な換気など感染症予防対策に積極的に取り組んでいます。また、感染症にかかった職員には、出勤をひかえるように教育しています。
健康づくりを支える 社会環境の改善・整備	・労働行政として、行政運営方針に基づく職場環境等の改善・整備に取り組んでいる。	・検診を受けることの大切さを幅広い方法で伝えています。 また、がんを予防するためにも、食生活や運動の大切さも合わせて伝えていくようにしています。	
今後の取り組みに向けた 課題等	・引き続き、関係機関等と連携しながら、労働行政の推進を通じて本プラン後期計画を推進していく。	・ホームページ、TVCMなどによるがん啓発活動・受診率向上の推進。	

	(公財) 宮城県結核予防会	(公社) 宮城県栄養士会	
重点分野に関する活動・事業等の実施状況	【重点分野1】 未来の健康をつくる 生活習慣病予防	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中小の事業所を中心とした職域における定期健診の受診率向上の推進 ・ 肺がん検診の受診勧奨及び受託実施 ・ 特定保健指導等により身体活動等の生活習慣改善を推進 ・ 特定健診や基礎健診等の受診勧奨及び受託実施 ・ 生活習慣病予防につながるオプション検査の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 健康な体づくりと生活習慣病予防～おいしく食べて、しっかり運動～ ・ イベント名：いい日、いい汗、栄養まつり…コロナ禍により中止
	【重点分野2】 気付き、つながる、 支える心の健康づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職域におけるストレスチェックの推進及び受託実施 ・ 長時間勤務労働者等の産業医による面接指導の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 健康相談：栄養・心の相談 9回…延20名
	【重点分野3】 健康な心と 身体を支える食生活	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特定保健指導等を通し、食生活の改善等の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 講話：おいしく食べていつまでも元気に（65歳以上高齢者30名） ・ 講話：笑う門には福来る（65歳以上高齢者20名） ・ 食育講座：小学生対象 3回 延62名
	【重点分野4】 生きる力を支える 歯と口の健康づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特定健診質問票により口腔衛生の必要性・重要性をアピール 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「10食品による展示と食生活相談」「3色食品群の展示と栄養相談」は、コロナ禍により中止
	【重点分野5】 大切な人の健康を守る たばこ対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 喫煙による健康被害等のPRと肺がん検診の受診勧奨 ・ 禁煙外来の受診勧奨 ・ COPDに関する啓発資材の配布やセミナーの実施 ・ 情報掲載パンフレットの配布等による禁煙の推進 	/
	【重点分野6】 日頃から一人ひとりが 取り組む感染症予防	<ul style="list-style-type: none"> ・ 結核予防思想の普及啓発、複十字シール運動の実施 ・ 結核検診及びBCG接種の推進並びに受託実施 ・ 夜間HIV検査の受託実施 ・ 各種ワクチン接種等の受託実施 	/
健康づくりを支える 社会環境の改善・整備	/	/	
今後の取り組みに向けた 課題等	/	<ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ禍による事業中止が多かったため、広く県民・市民に対してどのような形で栄養改善のための啓発をすべきかについて話し合いを行い、次年度事業を計画した。 	

	(一財) 宮城県予防医学協会	仙台市レクリエーション協会	
重点分野に関する活動・事業等の実施状況	【重点分野1】 未来の健康をつくる 生活習慣病予防	<ul style="list-style-type: none"> ・特定健診及び特定保健指導の実施 ・骨密度検査と結果に基づいた生活・食事指導、医療勧奨の実施 ・健診後保健指導（事後指導）、医療勧奨の実施 ・運動教室への講師派遣 	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントをとおした健康づくりの啓発等を目的とした高齢者生きがい健康祭（レクリエーションコーナーの開催）、仙台市民レクリエーションまつり、ニュースポーツ大会等の実施を計画したが新型コロナ感染拡大防止の観点から全て中止とした。
	【重点分野2】 気付く、つながる、 支える心の健康づくり		
	【重点分野3】 健康な心と 身体を支える食生活	<ul style="list-style-type: none"> ・食生活に関するポピュレーションアプローチ及び講演会等の講師派遣 ・高校・大学の健康診断結果通知書の裏面に食事についての情報提供 ・リーフレット、健康情報の作成と配布 	
	【重点分野4】 生きる力を支える 歯と口の健康づくり		
	【重点分野5】 大切な人の健康を守る たばこ対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・施設内及び営業車の禁煙実施 ・喫煙、禁煙に関するリーフレットの作成及び配布 ・禁煙に関する情報提供 	
	【重点分野6】 日頃から一人ひとりが 取り組む感染症予防	<ul style="list-style-type: none"> ・機関誌による情報提供 	
	健康づくりを支える 社会環境の改善・整備		
今後の取り組みに向けた 課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・機関誌、ホームページの充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・重点分野1にかかわる、5区レクリエーション協会横断的なイベント等の開発・実施を検討したい。 	